



農工通信

No.91
2016.8

The Graduates' association of
Tokyo University of Agriculture and Technology

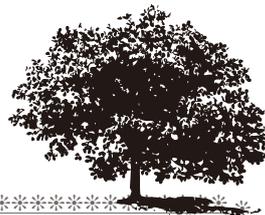


東京農工大学同窓会 TAT
<http://www.tuat-dousoukai.org/>

農工通信 No.91

Contents

会長挨拶	1
理事長就任・退任挨拶	2
同窓会第53回理事会・通常総会	3
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	9
叙勲・褒章受章にあたり 中山 昌治、高橋 明善、門屋 一臣、川村 重信、稲継 新太郎	10
退職にあたり 竹内 道雄、寺岡 徹、畠山 史郎、平澤 正、西山 敏夫、 清水 本裕、鈴木 康夫、伊藤 雅行	14
平成27年度同窓会学生援助事業報告	17
平成27年度卒業生・修了生	18
部会・支部・クラス会だより	25
掲示板（大学のニュース）、慶弔	38
事務局だより・編集後記	40
情報提供について	



表紙の作品

「ごまを干す」

秋山 龍之助(林S37)

県職員を退職後に、言わば六十の手習いで版画を始めました。以来十数年になりますが、農作業の傍ら楽しんでいます。

主に近在の田園風景や農家の庭先が題材になりますが、この作品も我が家で自家消費用に栽培した「ごま」を束ねて干している、ごく普通の農家の風景です。壁に立てかけた胡麻の束の影が屈曲して連なり、面白く映ったので描いてみました。

私が所属している日本板画院の展覧会が、毎年東京都美術館で開催され出展しておりますが、同期生の仲間10人近くが訪れてきますので、この機会を利用して旧交を温めています。

会長挨拶

同窓会長 草野 洋一（養蚕S47）



今年の5月11日に府中の農学部本館で行われた、東京農工大学農学部本館改修記念の式典に同窓会会長としてお招きいただき出席しました。農学部本館は、昭和10年(1935)年に、東京帝国大学農学部実科から独立して東京高等農林学校になったときに建設されたもので、同窓生の皆様も思い出があると思いますが、正門からこの本館に至る道は、ケヤキ並木が大きく育ち、是非近くに来られたときは、あえて時間を作って寄り道をされることを勧めます。こんなに立派なキャンパスだったかな?と嬉しくなると思います。

今回の農学部本館改修記念の際に、「NORINTEN稲塚権次郎物語」の上映とこの映画の監督の講演会があり、開催に当たって挨拶をすることになったので、昭和45年(1970)年にボーログ博士が、世界の食糧危機を救った緑の革命の功労者としてノーベル平和賞を受賞した際に、育種の母本としてその功績が再評価された稲塚権次郎と小麦品種農林10号について、事前の勉強をしてびっくりしたのですが、稲塚権次郎は、農工大学の前身である東京帝国大学農学部実科の卒業生で、本学の先輩でありました。昭和10年に農林10号を育成したのですが、昭和10年は、なんと農学部本館ができた年であり、なんとという偶然でしょうか。さらにびっくりしたことは、歴史的な水稻品種である陸羽132号の育成にかかわり、さらに改良を進めた新しい品種を第4世代まで育てたが、転勤によりこれを並河成資に引き継いだのですが、これがあの農林1号となったのです。陸羽132号の

子供が農林1号で、その子供が、あのコシヒカリなのです。孫にはササニシキがいます。小麦の稲塚は知っていましたが(知らなければこの世界ではモグリ)歴史に残る水稻の大品種にこんなにかかわっていたなど知りませんでした。

更に荻原農学部長に改装された農学部本館の展示室を案内していただき、これまたびっくりなのですが、昆虫好きでこの名を知らなければモグリになってしまう石井象二郎、全ゲノム重複説等で著名な分子生物学者で、有力なノーベル賞候補だった大野乾等が農工大学出身とは知らなかった。このほか多くの著名人がこのコーナーで紹介されています。同窓会誌でも今後逐次紹介することにしたいと考えています。このような偉大な業績を残された本学の卒業生を広く紹介することは、本学に学ぶ学生の誉れであるばかりではなく、我々卒業生の自慢であり、本学のステータスが上がれば、本学を目指す優秀な受験生も増えるでしょう。昔から実力はありながら地味で目立たないといわれている農工大学に関する正当な情報の発信になるのではないかと考えています。卒業した大学が実力通りに正しく評価されるのですから、同窓会としても、本館資料室等の取組を応援していきたいと考えています。

理事長就任の挨拶

滝山 博志（化工S62）



平成28年度より理事長を務めさせて頂くこととなりました。2年間副理事長を続け、同窓会の運営について、様々前理事長の鈴木創三先生に教えて頂きましたが、まだまだ学ぶことが多く不慣れなところもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上や会員交流の促進を図り、また同窓会組織の充実を図る方策として、1)法人化への移行について、2)持続的な運営経費のあり方について、3)部会・支部活動支援について、4)準会員の援助について、5)分収林の課題について、6)海外支部の設置についてなどを、会員の皆様のご意見を直接お伺いしながら検討してゆくことが私の使命であると考えています。

同窓会が持続的に活動するためには、卒業後の会員交流がもちろん大切ですが、準会員である在学生在が卒業時に同窓会の存在をあらためて知るだけでなく、準会員が日頃から同窓会の活動を理解していることも大切だと思います。平成27年度からは、今までの学生援助事業を同窓会研究課外活動奨励賞としてさらに充実させています。これは「準会員も身近に感じる同窓会」そして「賛助会員にも理解される同窓会」をアピールするための方法の一つです。会員交流を通じて、準会員の同窓会への理解および正会員が母校を思う気持ちの充実をはかることができると良いと思います。どうぞ、会員の皆様には同窓会活動に忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

理事長退任の挨拶

鈴木 創三（農S47）



この5月で本学同窓会理事長を退任いたしました。会員の皆様にはご協力、ご鞭撻を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

同窓生の親睦と大学の支援を同窓会活動の基幹として、1)規則・会計体制の整備、2)農工通信・ホームページの広報活動、3)部会・支部支援（学術講演会・理事派遣）、4)同好部会の新設、5)若手会員の参画促進、6)海外支部の設立、7)八王子分収林の契約延長、8)部会の組織編成、9)同窓会の法人化、10)会費納付率、11)熊本地震の被災支援、などについて進めて参りました。

総会員数5万5千人、資産（基本財産）3億3千万円、毎年学部新入生数1千名、年間予算5千万円のスケールで運営されるようになった本学同窓会は、社会的にもそれなりの体制を持つことが必要と考えられ、9)の法人化は認可規則の緩和もあって早急な検討課題となりまし

た。一方、年5千万円の予算規模の収入の大部分を占めていた学部新入生の入会金・賛助会費（卒業時には終身会費に移行）の納付率はこれまでの96%から、大学側の学納金納入案内が変更されたH28年春の入学生では60%に減少してしまいました。この大幅な収入減少は、これまでどおりの同窓会活動（農工通信の年2回の発刊、支部・部会支援や在学生在（準会員）の研究・課外活動奨励など）を行うには、予備費による充当、基本財産の取り崩しなどが必要になります。

このような大きな問題については、理事長退任後も経理部長担当の常務理事として、検討に加わらせていただきますので、会員の皆様方のご意見を賜りながら、良い方策を得たいと思っております。

同窓会第53回理事会・通常総会

■日時:平成28年5月28日(土)13:30~14:30 ■場所:府中キャンパス講堂 ■出席者:211名(内委任状61名)



第53回理事会・通常総会は、5月28日(土)、農学部本館改修のお披露目もかねて、昨年に引き続き府中キャンパスで開催された。通常総会に先だって理事会が農学部本館2階第2会議室で開催され、鈴木理事長を議長に選出した。議長から、平成28・29年度理事の推薦、平成28・29年度理事長・副理事長・常務理事の推薦、平成28・29年度監事の推挙、特別会員の推薦、通常総会の議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催にあたって、滝山副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。草野会長から(全国から多数の参加のお礼、大学運営に対する同窓会の支援の歴史について、来賓の方々の出席のお礼、有意な討論のお願い等)の挨拶があった。続いて松永学長をはじめ、来賓(國見理事、堤理事、島村理事、神谷生物システム応用科学府長、船田連合農学研究科長、畑中名誉会長、小畑名誉顧問)の紹介があった。松永学長から、同窓会からの支援に対する謝意があり、続いて大学の現状(府中キャンパス学生寄宿舎の整備、第3期中期目標等)の紹介があった。

引き続き、滝山副理事長から、通常総会の議長については、会則第35条に基づき草野会長が務める旨の説明があった後、会則第37条第2項により草野会長、生原監事、金子監事が議事録署名人となり議事に入った。

議事

1. 平成27年度事業報告(案)の件

鈴木理事長から、平成27年度事業報告【別記1】について報告があり、審議の結果、承認された。

2. 平成27年度収支決算報告(案)の件

鈴木理事長から、平成27年度収支決算報告(案)【別記2】について報告があり、審議の結果、承認された。

3. 平成27年度監査結果報告の件

金子監事から、平成27年度の会計、事業・業務遂行状況及び個人情報保護に関する取り扱いについて、適正に行われている旨の監査報告があり、了承された。

4. 平成28年度事業計画(案)の件

鈴木理事長から、平成28年度事業計画(案)【別記3】について説明提案がなされ、審議の結果、承認された。

果、承認された。

5. 平成28年度収支予算(案)の件

鈴木理事長から、平成28年度収支予算(案)【別記4】について説明提案がなされ、審議の結果、承認された。

6. 平成28・29年度理事・代議員の選任(案)の件

鈴木理事長から、平成28・29年度理事・代議員の選任(案)【別記5】について説明提案がなされ、審議の結果、承認された。

7. 平成28・29年度理事長・副理事長・常務理事の指名報告の件

鈴木理事長から、資料に基づき理事の中から、会長が理事長・副理事長・常務理事の指名をした旨の報告があった。

【p.9「同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表」参照】

8. 平成28・29年度監事の選出(案)の件

鈴木理事長から、平成28・29年度監事の選出(案)について、理事会で推挙された者について資料に基づき提案がなされ、原案どおり承認された。

【p.9「同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表」参照】

9. 特別会員の推薦報告の件

鈴木理事長から、資料に基づき、理事会で推薦された特別会員60名の報告があった。

10. 連合農学部会設置の件

鈴木理事長から、連合農学部会設置【別記6】について説明提案があり、審議の結果、承認された。

11. 同窓会法人化の件

鈴木理事長から、同窓会法人化【別記7】について説明提案があり、審議の結果、承認された。

12. その他の件

【別記1】

平成27年度事業報告

1. 第52回理事会・通常総会の開催

平成27年5月23日(土)府中キャンパスにて第52回理事会・通常総会を開催した。

議事内容は、1)平成26年度事業報告(案)、2)平成26年度収支決算報告(案)、3)平成26年度監査報告、4)同窓会会則の一部改正(案)、5)平成27年度事業計画(案)、6)平成27年度収支予算(案)、7)平成27・28年度会長・副会長の選任(案)、8)顧問の推挙(案)、9)特別会員の推薦報告、10)同窓会会員名簿の発行再開について、11)その他 会長の挨拶

2. 平成27年度副会長懇談会の開催

平成27年11月14日(土)、府中キャンパスにて平成27年度副会長懇談会を開催した。

3. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行った。

- 1) 同窓会誌「農工通信」:年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
- 2) 部会・支部活動:常務理事の部会・支部への派遣及び学術的な講演会開催支援も引続き行い、今まで派遣要請のなかった支部にも派遣した。部会・支部への新たな支援方策を検討した。
- 3) 同窓会ホームページ:平成24年度開設した「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実にについて更に検討を重ねた。部会・支部のホームページ立ち上げに協力した。
- 4) 同好部会:「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等に対する規程第2条第2項」に基づく同好部会の充実に努めた。

5) 会費等:入会金・賛助会費等の納付率90%の維持に努めようとしたが、大学側の入学案内資料の記載変更もあり、平成28年度新入生の納付率は60%であった。

6) 運営経費:歳出削減に努めるとともに長期的な資金保持・運用などについて検討した。

7) 総会構成員:「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努めた。

8) 法人化:認可規則の緩和にともなって、早急に実施する方向で検討することになった。

4. 同窓会の課題及び今後の対応

1) 分収林:八王子市との折衝、資産・隣接地権者の調査、搬出路の検討などを行った。

2) 海外支部設置:中国の大学・機関との調整及びインドネシアの支部事務局設置・同窓会開催準備等の検討を行った。

3) PR活動:同窓会紹介パンフレット(入学時及びペアレンツデーにて配布)及びホームページによるPR活動に努めた。

4) 会員の動静情報整理:農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。

5) 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施:準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。また、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実に努めた。

6) 会員の慶弔事の表意:祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった会員に感謝状を贈呈した。

5. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行った。

6. その他

1) 部会の組織編成:常務理事会に加えて、副会長懇談会でも検討した。

2) 校歌・寮歌のCD作成:会員からの資料収集、担当者の委員会で編集・作成を検討した。

【別記2】平成27年度 収支決算報告書(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:円)

No.	区分	細分	項目	(A)平成27年度 予算額	(B)平成27年度 決算額	(A)-(B) 増減	備考	
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金)	320,000,000	320,000,000	0		
2			余剰金からの繰入(30%超える分)	2,925,263	2,925,263	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入	7,074,737	7,074,737	0		
4			収入合計(1-3)	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出	0	0	0		
6			支出合計(5)	0	0	0		
7			基本財産残高(4-6)	330,000,000	330,000,000	0		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	9,538,577	9,538,577	0		
9			入会金	4,800,000	2,945,000	1,855,000	5,000円×589名=2,945,000円	
10			年会費	1,300,000	1,363,500	-63,500	1,500円×909名=1,363,500円	
11			終身会費	2,700,000	3,435,000	-735,000	(完納)30,000円×113名=3,390,000円 (分納)10,000円×1名=10,000円 15,000円×1名=15,000円 20,000円×1名=20,000円	
12			賛助会費	28,100,000	17,210,000	10,890,000	30,000円×572名=17,160,000円 留学生10,000円×5名=50,000円	
13			利息	1,900,000	1,969,648	-69,648	国債1,930,000円、預金39,648円	
14			寄附金	0	405,142	-405,142	一般寄附14件	
15			雑収入	300,000	90,000	210,000	農工通信広告料3件	
16				収入合計(8-15)	48,638,577	36,956,867	11,681,710	
17			支出	動静調査費	610,000	540,553	69,447	後納郵便料、名簿システム項目追加(個人情報対応)作業費
18				会報発行費	11,000,000	10,305,620	694,380	農工通信89号(4,651,800円)90号(5,021,100円)発行費、海外便発送費(195,720円)、編集委員謝金6名
19				HP管理作成費	250,000	266,528	-16,528	新規・更新掲載料、サーバーレンタル料
20				部会・支部活動費	7,500,000	5,880,400	1,619,600	活動費(17部会、4集団部会、46支部)、総会補助金(6部会、34支部)、祝金(5部会、30支部)、講演謝金1支部、メールアドレス収集補助金(3部会、3支部)
21				母校援助費	5,200,000	5,391,345	-191,345	学会発表・コンクール出場、課外活動、キャリアアドバイザーへの援助
22				新入正会員歓迎費	800,000	753,860	46,140	卒業証書カバー
23				分収林管理費	50,000	7,360	42,640	
24		資料整備費		200,000	183,384	16,616	新入生への案内パンフレットおよびペアレンツデー用リーフレット印刷費	
25				事業費計(17-24)	25,610,000	23,329,050	2,280,950	
26		総会会議費		3,400,000	3,446,708	-46,708	出席交通費131名分、懇親会費	
27		副会長懇談会費		90,000	178,030	-88,030	出席交通費26名分、お弁当代	
28		常務理事会議費		160,000	129,356	30,644		
29				会議費計(26-28)	3,650,000	3,754,094	-104,094	
30		人件費		5,500,000	5,328,791	171,209		
31		社会保険料等		300,000	332,876	-32,876		
32		備品費		300,000	0	300,000		
33		消耗品費		500,000	308,471	191,529		
34		複写機トータルサービス料		650,000	615,305	34,695		
35		通信費		350,000	261,890	88,110	電話料、宅急便、メール便	
36		旅費		2,300,000	1,778,280	521,720	支部総会理事派遣交通費	
37		事務用品印刷費		60,000	63,504	-3,504	封筒印刷	
38		慶弔費		150,000	61,828	88,172	電報、生花代	
39		光熱水費		170,000	146,973	23,027	電気料金	
40		職員厚生費		300,000	31,192	268,808	人間ドック補助金2名	
41		租税公課		500,000	385,381	114,619	利息にかかる国税・地方税	
42		振込手数料		250,000	267,500	-17,500		
43		その他雑費		310,000	299,288	10,712	感謝状作成費、損害保険料、個人情報溶解、会計指導 等	
44				管理費計(30-43)	11,640,000	9,881,279	1,758,721	
45		予備費		7,738,577	295,000	7,443,577	入会金・賛助会費の返付	
46				支出合計(25+29+44+45)	48,638,577	37,259,423	11,379,154	
47				運用財産残高(16-46)	0	-302,556	302,556	
48		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	59,348,084	59,348,084	0	
49				余剰金からの繰入(30%超える分)	0	0	0	
50				上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
51				収入合計(48-50)	59,348,084	59,348,084	0	
52			支出	八王子分収林育成事業費	0	0	0	
53				周年記念事業費	0	0	0	
54				学生援助事業費	0	0	0	
55	被災会員支援事業費			0	50,000	0	広島土砂災害(H26.8)被災者への見舞金	
56	図書・名簿等刊行事業費			0	0	0		
57	その他本財産に適合する事業費			0	0	0		
58			支出合計(52-57)	0	50,000	-50,000		
59			特定目的事業財産残高(51-58)	59,348,084	59,298,084	50,000		
60		合計(7+47+59)	389,348,084	388,995,528	352,556			
61	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0		
62		総合計(60+61)	422,225,484	421,872,928	352,556			

【別記3】平成28年度事業計画

(1) 第53回理事会・通常総会の開催

平成28年5月28日(土)府中キャンパスにて第53回理事会・通常総会を開催する。

議事内容は、1)平成27年度事業報告(案)、2)平成27年度収支決算報告(案)、3)平成27年度監査報告、4)平成28年度事業計画(案)、5)平成28年度収支予算(案)、6)平成28・29年度理事・代議員の選任(案)について、7)平成28・29年度理事長・副理事長・常務理事の指名について、8)監事の選任(案)について、9)特別会員の推薦報告、10)連合農学部会の設置について、11)同窓会法人化について、12)その他、新旧理事長の退任・新任挨拶

(2) 平成28年度副会長懇談会の開催

平成28年11月12日(土)、府中キャンパスにて平成28年度副会長懇談会を開催する。

(3) 同窓会の組織と活動

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行う。

- 1) **法人化**: 一般社団法人への移行について、平成29年度総会で提案、平成30年度の総会で決定するスケジュールで検討する。
- 2) **運営経費**: 歳出削減に努めるとともに、会費収入が少ない予算規模での活動方針、長期的な資金保持・運用などについて検討する。
- 3) **会費等**: 入会金・賛助会費等の納付率を向上させるための方策を検討し実施する。
- 4) **部会の組織編成**: 常務理事会に加えて、副会長懇談会でも検討する。
- 5) **総会構成員**: 「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努める。
- 6) **同窓会誌「農工通信」**: 年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 7) **部会・支部活動**: 常務理事の部会・支部への派遣及び学術的な講演会開催支援も引続き行い、今まで派遣要請のなかった支部にも派遣する。部会・支部への新たな支援方策を検討する。
- 8) **同好部会**: 「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等に関する規程第2条第2項」に基づく同好部会の充実に努める。

9) **準会員への援助**: 準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。また、準会員に対して同窓会の活動を理解してもらうようなPRをする。さらに、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実に努める。

10) **同窓会ホームページ**: 「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実にについて更に検討を重ねる。部会・支部のホームページ立ち上げに協力し、部会・支部のホームページからリンクしてメールアドレスを登録できるようにシステムを構築する。

(4) 同窓会活動の課題

- 1) **分収林**: 八王子市との折衝、搬出路の検討を行う。
- 2) **海外支部設置**: 中国の大学・機関との調整およびインドネシアの支部事務局設置・同窓会開催準備等の検討を引き続き行う。
- 3) **PR活動**: 同窓会紹介パンフレット(入学時及びペアレンツデーにて配布)及びホームページによるPR活動に努める。
- 4) **会員の動静情報整理**: 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) **会員の慶弔時の表意**: 祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。
- 6) **災害時の同窓生支援**: 被災状況を調査し、必要に応じて被災された同窓生の支援を行う。

(5) その他

- 1) **校歌・寮歌のCD作成**: 担当者の委員会で編集・作成を進める。

【別記4】平成28年度収支予算

(単位:円)

No.	区分	細分	項目	平成28年度 予算額①	平成27年度 予算額②	差異 ①-②	適用
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金 6)	330,000,000	320,000,000	10,000,000	
2			余剰金からの繰入れ(30%超える分)	0	2,925,263	-2,925,263	
3			上記以外の余剰金からの繰入れ	0	7,074,737	-7,074,737	
4			収入合計(1+2+3)	330,000,000	330,000,000	0	
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0	
6			支出合計(5)	0	0	0	
7			基本財産残高(4-6)→次年度繰越金	330,000,000	330,000,000	0	

No.	区分	細分	項目	平成28年度 予算額①	平成27年度 予算額②	差異 ①-②	適用	
8			前年度繰越金	-302,556	9,538,577	-9,841,133	前年度の赤字302,556円	
9		収入	入会金	3,300,000	4,800,000	-1,500,000	前年度実績は2,945,000円だが、追加募集や募集方法の検討を加えることとし、3,300,000円を計上(再案内による追加募集見込60名)	
10			年会費	1,200,000	1,300,000	-100,000		
11			終身会費	2,500,000	2,700,000	-200,000		
12			賛助会費	19,000,000	28,100,000	-9,100,000	前年度実績は17,210,000円だが、追加募集や募集方法の検討を加えることとし、19,000,000円を計上(再案内による追加募集見込60名)	
13			利息	1,900,000	1,900,000	0	前年度実績は1,969,648円だが、定期預金の利息減を見込んで1,900,000円を計上	
14			寄附金	0	0	0		
15			雑収入	300,000	300,000	0	前年度実績は90,000円だが、昨年度未収金も回収した上で、広告料収入の増加につとめることとし、300,000円を計上	
16			収入合計(8-15の計)	27,897,444	48,638,577	-20,741,133		
17	運用 財産	支出	動静調査費	570,000	610,000	-40,000	前年度実績は540,553円だが、経費増を見込んで570,000円を計上	
18				会報発行費	0	11,000,000	-11,000,000	本年度は特定目的事業財産から支出
19				HP管理作成費	270,000	250,000	20,000	前年度実績266,528円を勘案
20				部会・支部活動費	6,500,000	7,500,000	-1,000,000	前年度実績は5,880,400円だが、部会・支部活動の更なる支援600,000円を確保して6,500,000円を計上
21				母校援助費	0	5,200,000	-5,200,000	本年度は特定目的事業財産から支出
22				新入正会員歓迎費	780,000	800,000	-20,000	前年度実績753,860円を勘案
23				分収林管理費	30,000	50,000	-20,000	前年度実績額7,360円と本年度活動費の増を見込んで30,000円を計上
24				資料整備費	200,000	200,000	0	前年度実績183,384円を勘案
25				事業費計(17-24の計)	8,350,000	25,610,000	-17,260,000	
26				総会会議費	4,000,000	3,400,000	600,000	前年度決算3,446,708円及び本年度旅費実績を勘案
27				副会長懇談会費	180,000	90,000	90,000	前年度実績178,030円を勘案
28				常務理事会議費	120,000	160,000	-40,000	前年度実績は129,356円だが、経費を節約することとし120,000円を計上
29				会議費計(26-28の計)	4,300,000	3,650,000	650,000	
30				人件費	5,350,000	5,500,000	-150,000	前年度実績5,328,791円を勘案
31				社会保険料等	340,000	300,000	40,000	前年度実績332,876円を勘案
32				備品費	0	300,000	-300,000	前年度実績0円を勘案
33				消耗品費	310,000	500,000	-190,000	前年度実績308,471円を勘案
34				複写機トータルサービス料	620,000	650,000	-30,000	前年度実績615,305円を勘案
35				通信費	270,000	350,000	-80,000	前年度実績261,890円を勘案
36				旅費	1,500,000	2,300,000	-800,000	前年度実績は1,778,280円だが、派遣常務理事旅費を節約することとし、1,500,000円を計上
37				事務用品印刷費	70,000	60,000	10,000	前年度実績63,504円を勘案
38				慶弔費	100,000	150,000	-50,000	前年度実績は61,828円だが、変動も見込まれるので100,000円を計上
39				光熱水費	150,000	170,000	-20,000	前年度実績146,973円を勘案
40				職員厚生費	300,000	300,000	0	退職金、人間ドック等
41				租税公課	400,000	500,000	-100,000	前年度実績385,381円を勘案
42				振込手数料	270,000	250,000	20,000	前年度実績額267,500円を勘案
43				その他雑費	310,000	310,000	0	前年度実績299,288円を勘案して昨年と同額
44		管理費計(30-43の計)	9,990,000	11,640,000	-1,650,000			
45		予備費	5,257,444	7,738,577	-2,481,133			
46		支出合計(25+29+44+45)	27,897,444	48,638,577	-20,741,133			
47			運用財産残高(16-46)→次年度繰越金	0	0	0		
48	特定 目的 事業 財産	収入	前年度繰越金	59,298,084	59,348,084	-50,000		
49				余剰金からの繰入(30%を超える分)	0	0	0	
50				上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
51				収入合計(48+49+50)	59,298,084	59,348,084	-50,000	
52		支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0		
53				周年記念事業支出	0	0	0	
54				学生援助事業支出	6,000,000	0	6,000,000	収入の大幅な減のため本年度は特別に母校援助費を特定目的事業財産から支出する。前年度実績5,391,345円を勘案し、増加を見込んで6,000,000円を計上
55				被災会員支援事業支出	0	0	0	※災害があった場合、必要に応じて常務理事会の議を経て支出する
56				図書・名簿等刊行事業支出	0	0	0	
57				その他本財産に適合する事業支出	10,000,000	0	10,000,000	収入の大幅な減のため本年度は特別に会報発行費を特定目的事業財産から支出する。前年度実績10,305,620円を勘案し、さらに経費を見直すこととし、10,000,000円を計上
58		支出合計(52-57の計)	16,000,000	0	16,000,000			
59			特定目的事業財産残高(51-58)→次年度繰越金	43,298,084	59,348,084	-16,050,000		
60			合計(7+47+59)	373,298,084	389,348,084	-16,050,000		
61	特定 資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価	
62			総合計(60+61)	406,175,484	422,225,484	-16,050,000		

【別記5】平成28・29年度 理事・代議員の選任(案)の件

同窓会会則第11条第1項第二号➡「理事はそれぞれの部会の推薦による者のほか理事会の推薦による者を総会で選任する」

同窓会会則第17条➡「代議員は正会員の中から部会及び支部が推薦し総会で選任する」

平成28・29年度 部会推薦理事・代議員・理事会推薦理事候補者

部会名	理 事					代 議 員			
1 農学・生物生産学部会	中原 純一 (農S37)	早川 潔 (農S41)	鈴木 創三 (農S47)	荒木 俊光 (農S55)	箕田 豊尚 (農H5)	南波 利昭 (農S46)	松村 昭治 (農S47)	生井澤 初枝 (農H5)	
2 蚕糸生物学部会	蛭木 理 (養蚕S47)	仲 昭年 (蚕糸S52)	田村 宣浩 (蚕糸H1)			大澤 慶幸 (蚕糸S54)	寛 文平 (蚕糸S55)		
3 植防・応用生物学部会	米山 勝美 (植防S41)	國見 裕久 (養蚕S48)	寺岡 徹 (植防S50)			山元 大輔 (植防S51)	片岡 淳 (植防S53)		
4 農芸化学・応用生命化学部会	高橋 幸資 (農化S45)	松本 光人 (農化S49)	和田 義明 (農化S53)	千葉 一裕 (農化S56)	都築 伸幸 (農化H2)	増田 隆 (農化S55)	榎本 麻衣 (応生H20)	神保 希望 (応生H24)	
5 林産・生物資源工学部会	佐藤 敬一 (林産S56)	近江 正陽 (林産S60)	吉田 誠 (環資H12)			木口 実 (林産S57)	安藤 恵介 (林産H2)		
6 環境科学部会	星野 義延 (環保S53)	武田 庄平 (環保S57)	多羅尾 光徳 (環保H3)			金子 弥生 (環保院H4)	渡邊 誠 (環保H11)		
7 林学部会	一鳥 正三 (林S45)	片岡 辰幸 (林S49)	渡辺 直明 (林S51)			峰松 浩彦 (林S42)	塚原 道夫 (林S51)		
8 生産環境工学部会	渡辺 彰 (農工S43)	島田 清 (農工S48)	田島 淳 (農工S56)			川田 明宏 (農工S51)	帖佐 直 (農工H4)		
9 地域生態システム学部会	山口 泰民 (地生H12)	大和 知朗 (地生H16)	深井 敬哲 (地生H20)			五十嵐 香介 (地生H15)	大場 健太郎 (地生H17)		
10 獣医学部会	津曲 公夫 (獣医S43)	大原 英治 (獣医S44)	佐々木一昭 (獣医H4)			木島 まゆみ (獣医H4)	大島 真以子 (獣医H9)		
11 製糸・高分子・生命工学部会	長谷川 茂 (製糸S29)	草間 健一 (製糸S43)	小野 健一 (製糸S44)	成田 英次 (製糸S45)	三木 茂 (製糸S46)	近藤 幹也 (製糸S58)	秋山 大二郎 (製糸S60)	新垣 篤史 (物生H9)	
12 繊維・有機材料部会	高井 英雄 (織工S31)	岩島 寛 (織工S33)	壁矢 久良 (織工S35)	金子 由実 (織高S51)		深水 智明 (織工S38)	窪田 一郎 (織高S46)	原島 朝雄 (織高S49)	
13 化学工学部会	加藤 之貴 (化工S60)	井上 修吾 (化工S62)	滝山 博志 (化工S62)			板垣 和雄 (化工S48)	紫垣 由城 (化工S52)		
14 応用分子化学部会	増澤 政男 (織化S31)	清水 康次 (織化S32)	伊王野 耕二 (工化S39)	長谷川 禎告 (工化S40)	平野 正雄 (工化S48)	早川 幸男 (織化S23)	薨 秀磨 (工化S39)	遠藤 幸一 (工化S46)	
15 機械システム工学部会	近辻 喜一 (機械S38)	堀 三計 (機械S52)	大谷 幸利 (機械S62)			武藤 篤生 (機シスH1)	渡邊 力夫 (機シスH5)	今成 昌文 (機械S57)	伊藤 幸弘 (機シスH14)
16 電気電子工学部会	飯村 靖文 (電子S56)					有馬 卓司 (電情H10)			
17 応用物理学部会	大野 直次 (応物S47)	池浦 雅光 (応物S47)	伊東 浩 (応物S52)			関根 朝次 (応物S47)	藤江 大二郎 (応物S49)		
18 情報工学部会	加藤 直樹 (電情H5)	朱碧蘭 (情コミH15)	古宮 嘉那子 (情コミH17)			楊一平 (情コミ院H16)	李傑英 (情コミ院H17)		
19 MOT部会	木下 泰宏 (MOTH19)	武井 遼 (MOTH21)				野地 英昭 (MOTH20)			
20 BASE部会	根岸 大助 (生シ院H15)	池羽田 晶文 (生シ院H10)				長田 光洋 (生シ院H17)			
理事会推薦理事	亀山 秀雄 (工化S48)	馬場 真知子 (林学院S51)	渡辺 元 (獣医S54)	千年 篤 (農S58)	野村 義宏 (農化S59)	戸田 浩人 (林S59)	渡邊 敏行 (材料S61)	齊藤 美佳子 (工化H1)	
	野口 恵一 (材料H1)	夏 恒 (機シス工博H7)	富永 洋一 (物生H7)	赤井 伸行 (環資H11)	西澤 宇一 (機シスH12)	村上 尚 (応化H12)	水川 薫子 (環資H18)		

平成28・29年度 支部代議員候補者

支部名	平成28・29年度代議員候補者	支部名	平成28・29年度代議員候補者	支部名	平成28・29年度代議員候補者	支部名	平成28・29年度代議員候補者
北海道	武井 一郎 (農工H1)	東京	山本 賢 (農工S43)	大阪	阿部 修 (林S54)	徳島	小杉純一郎 (林S63)
青森	大橋 統州 (農S54)	神奈川	鈴木 誠 (蚕糸S59)	京都	松井 崇 (農工S51)	高知	岡崎 恭久 (農化S58)
秋田	舩谷 雅広 (農工S61)	新潟	小池上 護 (機械S52)	滋賀	森井 源藏 (農工S50)	愛媛	池上 正彦 (蚕糸S52)
岩手	伊藤 勝規 (林S53)	富山	小杉 啓一 (林S54)	奈良	山本 治幸 (電気S54)	福岡	白石 哲広 (林産S50)
山形	伊藤 澄夫 (製糸S46)	石川	西山 宏 (環・資H6)	和歌山	中村 純子 (環・資H6)	佐賀	大島 一里 (植防S57)
宮城	菅野 昭 (環保S53)	福井	野坂 雄二 (農工S53)	兵庫	安齊 文夫 (林産S45)	長崎	古賀 淳士 (農S52)
福島	小島 重紀 (農工S55)	山梨	小林 均 (林S55)	岡山	谷 智仁 (林S61)	熊本	田中 良典 (植防S51)
茨城	小野 真人 (獣医S42)	長野	飯島 章彦 (植防S50)	広島	石田 一之 (機械S59)	大分	永野 和範 (農工S63)
栃木	牧 佳輝 (獣医S41)	岐阜	雨宮 功治 (植防S60)	山口	上橋 崇志 (応化H13)	宮崎	井上 勝弘 (林S35)
群馬	山本 明 (農工S45)	静岡	杉山 嘉英 (林S52)	鳥取	門脇 互 (製糸S54)	鹿児島	平 繁人 (養蚕S45)
埼玉	松村 一郎 (環保S55)	愛知	瀧川 桂三 (林S41)	島根	松浦 史瑞 (林産H1)	沖縄	花城 薫 (林産H3)
千葉	内田 律夫 (養蚕S47)	三重	西野 実 (生産H7)	香川	小副川 徹 (農工S42)	横浜	山川 敏明 (製糸S41)

【別記6】連合農学部会設置の件

平成28年4月8日付けで、東京農工大学同窓会理事長宛に、連合農学研究科の研究科長船田良氏より、連合農学研究科に下記の同窓会部会を設置したい旨の依頼があった。

記

1. 部会名:連合農学部会
2. 部会長名:船田 良(連農S63)
3. 理事名(2名):齋藤 高弘(連農H4)、朝山 宗彦(連農H5)
4. 代議員名(1名):伊豆田 猛(連農H1)
5. 連絡員名:野村 義宏(連農H2)
6. 構成員:1,144名

東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動費等に関する規程第4条第2項「…常務理事会の議を経て総会の承認を必要とする。」



平成28年5月20日(金)開催の常務理事会で、連合農学部会設置の件を平成28年度第53回総会に上程することを決定

叙勲・褒章受章にあたり

【平成27年秋の叙勲・褒章】

藍綬褒章を受章して

中山 昌治(林S32)

小生この度、平成27年秋の褒章に際しまして、凶らずも藍綬褒章の栄に浴し、昨年11月13日、家内共々皇居に参内し、豊明殿に於いて天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜り、加えて居場所が良かったためか、陛下より直接、元気で頑張ってくださいとお言葉まで賜り感激の極みでありました。これもひとえに皆様の永年に亘る心暖かい、ご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

尚、考えてみますると、藍綬褒章とは、如何なる章かと云えば、地域社会の公益のため、功績のあった人に、国家から与えられる勲章の事であり、如何にして小生が本件に該当したのかである。

振り返ってみますと、昭和32年戦後の三白景気を担った紙パルプ業界に就職、転勤族として、パルプ原木集荷のため主に東北地方を転々と回り、各地の風土慣習を見聞出来た事が特に印象に残った。

特に昭和35年岩手県一関に在勤中、陸前高田に出張し、松原に流れ出る気仙川の畔の旅館に泊まっていて、チリ津浪を直接体験し、地域が一丸となって助け合い、協力しあう地域の絆の強さを目の当たりにした。また、昭和37年、東京から山形県米沢に転勤したとき、米沢は排他的のところだから気を付けろと言われ、米沢藩が江戸後期財政破綻したのを、再興するには他人のことなどかまっていられなかったからだろう、と推測した。いざ、赴任してみると、まったく逆で、親切丁寧で、地域の絆は強く感激した。この風土を築き財政再興を果たした上杉鷹山公の名言、為せば成る、為さねば成らぬ何事も云々に心酔するに至つ

た。以来小生の座右の銘はこの言葉となった。

そして35年振りに地元五日市に戻りましたが、皆目何も判らない状況の中、皆様が暖かく迎え入れて下さったことが本当に嬉しかった。間もなく、森林組合を皮切りに自治会、防犯協会、JA関係等役務を仰せつかって参りました。特に防犯協会にあっては、五日市警察署管内17支部、93自治会の組織にあって、犯罪撲滅風土の醸成のため、あらゆる観点からの改革をターゲットに、各自治会から1名以上の女性部員を推薦してもらい、また、自治会長を協会の幹事以上に迎え入れ、連携の強化を図り、いかにしたら地域の絆を強くし、協力体制を導けるか、地域で胸を張って活動できる環境を作れるか、地域に見合った活動(例えば戸別訪問)等を積極的に提案、賛同を得ることを目標に、改革する事に専念した積りであった。

幸い、皆様のご協力により業績を含め、それなりの成果も見られたと思われ、皆の信頼を得るには、如何にすべきかを重点的に活動してきたことが、評価されたのではと思えるしか、理由が見当たらなかった次第である。



【平成27年春の叙勲】

私の履歴書

高橋 明善(名誉教授)

今春、私が受けた叙勲について、同窓会からご丁寧な祝辞を頂き有り難うございました。

関連して「これまでのご尽力」「叙勲に至る背景」を語ってほしいとお申し出を頂きまし

た。私は誇るべき業績があるわけでない平凡な教師、研究者でした。叙勲の基準がどこにあるか私には判りません。実際はご推薦頂いた学長先生初め、農工大学の関係者のご尽力によるところが大きかったと感謝しております。

それでも何かが評価されたのでしょうか。叙勲に関心を持つ方も多くおられるようです。皆様の参考になればと、恥を忍んで簡単な私の履歴書を披露致したいと思います。制限字数のためごく簡略にせざるを得ませんでした。お詫びします。

私は島根県出雲の山間の高校出身です。東京大学文学部社会学科を卒業してから、国立大学に41年(東大助手8年、農工大教員33年)、定年後私立大学(東京国際大学・学部修士課程担当)に8年、合計49年大学人として過ごしました。大学しか知らないという意味では偏った人間であるかも知れません。東大では誕生間もない教養学部、農工大学では定年2年前まで一般教育部に所属しました。定年前には農学科(現生物生産学科)で学部や修士課程も担当しました。最後の2年は農学部地域生態システム学科、人間自然共生学講座への所属です。戦後誕生間もない新制大学の教養教育の場に職を得、農工大学に移って一般教育部に専任し(公式には農学部所属)、晩年の大学改組にあたって、一般教育消滅の死に水を取って大学生活を終えたのは皮肉なことでした。私の履歴の最大の特徴は、一般教育担当教員として約40年間勤務したことでした。

直接指導した学生は少ないのですが、長期の勤務期間の間には、多数の受講学生がおり、少なくない卒業生と今なお交流しています。彼らのなかには同じ専門分野の学会に所属する人もおり、さらに多くの学生が農工大学の同僚となりました。一般教育部という広い分野を含む内部組織と農学部という専門学部の双方に属していたため、大学では研究と生活の両面で、学問諸分野の多くの先生方と交流を深めてまいりました。農工大学は単なる職場ではなく、人生の最も活動的な時期を、長期にわたって、全人格を投入して過ごした故郷でもあり、農工大学に対しては、卒業生にも勝る強いアイデンティティをもっていると思います。また、全国に研究仲間や、学会を通しての知人を得たことは幸いなことでした。

私は、一般教育専任教員として一般教育を講ずるとともに、研究者としては農村社会学者として生涯を送りました。単独執筆の研究書一冊は恥ずかしい次第です。ほかに責任編集の著作17本、単著論文約150本があります。私の研究は調査を通しての実証研究を軸にしています。関心分野は次のようなものです。研究の前半期は①農村の家と村落、②農民意識の研究ですが、中心には30年をこす特定地域の定点観測、継続調査があります。③産業化、地域開発と農村を中心とする地域社会の変動の研究が続きます。④50歳頃からジャワ、日本、中国、沖縄を中心とした調査を通しての農村の比較研究に関心を持ちました。⑤農工大学定年前後は「沖縄の基地移設と地域振興問題」に集中しました。私立大学を72歳で引退してからは、⑥日本と中国の村落研究史を農村における公共性の実現という視点から考え、今も論文を書いています。

海外国際学会出席発表10回、ほかに、外国調査・視察など25回を経験しています。

農工大学では、大学評議員、一教育部の予算施設、教務の委員長、一般教育部・全学・農学部の改革委員、一般教育の解体や農学部再編のための委員、解体後の全学共通科目委員長など多数の役職を経験しました。

所属学会は10をこしました。そのうち、日本社会学会(会員数4,000人)では長期に役員を務め、終身評議員となっております。日本村落研究学会(会員数400人)では会長を務め、現在も編集顧問をしています。農村計画学会、地域社会学会、一般教育学会(現大学教育学会)、多摩学会では設立発起人となり役員も務めました。農水省、府中市の専門委員も幾つか勤めました。また、社会学の学術賞である「福武賞」を授賞しました。

非常勤講師として、東京大学、一橋大学、中央大学(学部、大学院)、国際基督教大学で農村社会学や地域社会学をかなりの年数担当しました。そのほか、若い頃は日本女子大学で社会学を、また、神戸、山梨、茨城、高知、法政、専修の諸大学で学部、大学院の短期の専門講義をしました。

私の場合、国立大学での、一般教育部教員としての長期の勤務が多少変わった経歴であるといえるかもしれません。

*交わりは 生きてる証 年老(ふ)りて
 人の情けが 身にしむ深し
 *若き日は 思いもせぬに 世紀こえ
 八十路歩みぬ 有難きかな
 *人生は 農工大と ともにあり
 その発展に 浄土を見たし

公職から退いて以来、万葉集4,500首を目標に歌を詠んでいます。現在3,000首をこしています。

もうしばらく、現世に浄土を夢みたいと思います。

(2015年6月18日記)

回顧寸描

門屋 一臣(農S33)



このたび図らずも平成27年春の叙勲で、瑞宝中綬章の栄に浴することになった。これもひとえに母校で教わった農学が強い礎となって、その後の私の研究教育活動を支えてき

たものと痛感している。

私は農家の長男として生まれた。周辺の雰囲気から長男は後継者として農の道を歩むことが当然のことのように考えられた時代であった。私自身も小学生の頃から学校から帰ると役牛の世話や田植えやら稲刈の手伝いもした。みかんの害虫防除では青酸ガス燻蒸も手伝った。これくらい危険極まりない仕事をよくも手伝ったものだと思ってもぞっとする。

高校3年生になって、恩師の指導教官が『東京農工大学は実践を重んじる大学なので君にはよいと思うよ』と教えて下さった。そのお陰で大学でのよき恩師に恵まれた。リンゴ『ふじ』の育成親でもある新津宏先生や松本正雄先生にご指導を頂いた。甲府の新津先生のお宅や代々木の松本先生のお宅にも度々お招き頂き、腹いっぱいご馳走になった記憶が蘇る。学術面での指導はいうまでもないが人としての生き方を教わったことも私の大きな財産となった。

農家の後継者としていよいよスタートするに当たって地元愛媛大学のご指導を仰がねばと早速園芸研究室を訪ねたところ突然に『今研究室の仕事が忙しいから少し手伝ってくれないか』との全く予期せぬ誘いのお言葉である。母に相談すると『農家の後継者として今から精を出すのもうれしいけれど一勤め人として世間を勉強することも大切ではないの』とのことであった。

以来あっという間に40年近い歳月が流れた。亥の年生まれの私はまさに猪突猛進したことになる。研究生活を通して気がついたことは畑の土壌はまさに大宇宙だということである。例えば畑に生育する作物といわずほとんど全ての植物根は菌根菌の菌糸によって結ばれて巧妙なネット社会を構成しており、無機栄養素の吸収効率を高めあっている。経済至上主義が農作業の上にも影を落しつつある現在にあって、土壌中の巧妙な仕組みを破壊せぬかと心配もしている。

ともあれ国民の税金を投入して頂き、好きな研究に没頭させて頂き、その上叙勲とは誠にありがたい限りである。これも永年にわたる同窓諸兄のご指導とご支援の賜と感謝感謝の毎日である。

叙勲の原点は養蚕学科

川村 重信(養蚕S40)

平成27年春の叙勲に際し、はからずも瑞宝小綬章の栄に浴し5月12日には皇居宮殿春秋の間におきまして天皇陛下の拝謁を賜りました。

このたびの受章は、多くの方々に支えていただき永年茨城県庁に勤務したことが認めて頂いたものと感謝しております。

私は、昭和36年に今の工学部の前身である繊維学部養蚕学科に入学し、その後繊維学部が工学部に改組されるに伴い昭和40年農学部養蚕学科として卒業しました。私の記憶では、当時繊維学部は養蚕、製糸、繊維化学、繊維工学の4学科で小金井キャンパスには桑畑があり、2年生の時には養蚕実習で蚕を飼ったことを覚えています。寮は和・忠・信・義の4棟で1年生が入る義寮は陸軍の兵舎を利用したものでかなり古く、廊下は穴だらけで部屋は

畳の大部屋でそれぞれ4~5人が机と布団を置き学生生活を送っていたのですが、部屋の間の壁には大きな穴がありキケンな廊下を通らなくとも行き来できるという便利な面もありました。寮では毎夜、熱い議論を肴に酒を酌み交わしたことや、武蔵小金井駅前の焼き鳥屋で焼酎を飲み、酔いを長持ちさせるため寮まで全力で走るといのがお決まりのコースで懐かしく思い出します。

私は、昭和40年に蚕糸職として茨城県庁に入り蚕業試験場と蚕業指導所を振り出しに県庁生活をスタートしました。私が入庁したころは茨城県でも養蚕が盛んで15,000戸程の農家が蚕を飼っており、貴重な換金作物として県の農業の中で大きな地位を占めていました。ご案内のとおり、蚕糸業は2014年に世界文化遺産に登録された富岡製糸場に代表されるように、日本の近代化に重要な役割をはたして来ましたが、中国からの大量の生糸の輸入やナイロンの発明などにより、国内の蚕糸業は大きな打撃を受け、茨城県でも昭和50年代以降養蚕農家が大幅に減少しました。私は、昭和45年に県庁蚕糸課に異動となりその後退職するまでの30年間、農林水産部で部長直属スタッフとして農政全般、総務部で秘書課、知事政策室、企画部で企画課、地域振興室など県庁内各部署でその時々の政策課題に取り組み、平成12年農林水産部長で退職しました。

今回の叙勲が35年間の県行政での功績がみとめられたものとすれば、養蚕学科を卒業し、茨城県の蚕糸職に採用されたのが県行政のはじまりであり、養蚕学科卒業でなければ茨城県庁に就職していなかったであろうと考え、このたびの叙勲は養蚕学科が原点であろうと思っています。

あらためて、多くの皆様に感謝申し上げます。
(茨城県支部長)

農林水産省の32年

稲継 新太郎(獣医S40)

平成27年春の叙勲ではからずも瑞宝小綬章を授与されました。

ふり返りますと、1965年に獣医職で農林水産省に入ってから1996年に退職するまでの

32年間、北海道開発局、農用地開発公団、JICAへの出向等10回の転勤と海外(中国)勤務を経験しました。この間本省には8年間勤務しました。

概ね3年ごとの転勤で、行政と現場の内容の異なる職場でその都度一から新しい仕事に取り組んできました。最初の10年間は北海道日高・十勝の国の牧場で、馬、乳牛、肉牛、綿羊の診療、繁殖、飼養管理等の基礎的な技術を学びました。家畜とともに歩んだ、私の青春時代でもありました。この頃学んだ技術がその後の仕事に大きく役に立ちました。

その後国土開発計画等に基づく大規模な畜産開発計画等に参画して、岩手、石川、北海道等の現場を飛び回り、更に競馬法と日本中央競馬会法の改正、国の牧場の再編業務等の行政の仕事に携わりました。異なる仕事を必死に手掛けてきたことを思うと感慨深いものがあります。転勤は大変なことですが、机上の空論に走りがちな行政のリスクを回避するためにも、行政から再び現場に出て新しい技術や自然の摂理を学ぶことが私にとっては貴重なスキルアップとなりました。

農林水産省での最後の仕事は、乳牛の育種改良に実績のある新冠牧場長を経て、1993年から3年間政府派遣職員としてJICAに出向し、中国天津において酪農技術の移転、人材の養成に携わりました。乳牛の育種、飼養管理、受精卵移植等の広範囲な技術移転を5名の専門家で実施するプロジェクトで、私は東ね役のチームリーダー兼育種改良の担当でした。

当時の中国は鄧小平の改革開放政策の真ただ中で、新しいことを学び次へ飛躍するという時代で、中国側のカウンターパートは貧しいけど、若い人材が多く意欲も旺盛でした。

帰国後は、2000年にJICAのアフターケア調査で最初の再訪、2011年に自分の退職記念として10年ぶりに天津乳牛発展センターを訪問しました。市政府の助成により施設は一新され、カウンターパートも中核的な人材に育ち活気にみちていました。プロジェクトが成功したことを実感するとともに、中国側、日本側双方の誠実かつ本気で向き合った対応、相互の活発なコミュニケーションが成功の背景にあったと思いました。私にとっても天津酪農は思い出深い現役最後の仕事となりました。

退職にあたり

農学研究院教授 竹内 道雄(農化院S50)



昭和50年3月に東京農工大学大学院を修了し、4月から農学部微生物化学講座助手として採用され、その後、遺伝子機能制御学教育研究分野で教育と研究に携わり平成28年3月定年退職の日

を迎えることになりました。この41年の間には多くの教職員、学生さんと出会うことができ、楽しい研究生活を送ることができました。退職した今、このことが懐かしく思い出されます。しかし、若いときは研究費を申請してもなかなか取得できず、苦労しましたが、この研究費が乏しいなか昭和56年、62年、平成6年の三度にもわたり私にとっては要所で同窓会の東京農工大学後援会から援助資金をいただき、これが大きな励みとなり、就任当初から進めていた麹菌の研究を続けることができ、晩年の大型外部資金獲得にも繋げることができました。大変感謝しております。今大学はグローバル化の方向に向かいつつありますが、東京農工大学の特色を推し進めるためには、同窓会のさまざまなサポート事業の果たす役割も非常に重要になってくると思います。最後に、長い間本当にありがとうございました。東京農工大学と同窓会のますますの発展をお祈り申し上げます。

農学研究院教授 寺岡 徹



昭和58年7月に三菱化成(現・三菱化学)総合研究所の研究員から農学部助手に着任して以来、延33年も本学に勤務させて頂きました。毎日満員電車で揺られることもなく、緑多いキャンパスで清々しい空気を満喫して教育研究生活を

過ごせたこと、家族共々健康で定年を迎えられたこと、ほんとうにありがたく喜ばしく感じています。ただ、教員としては、いったん決めたこと、言ったことはなかなか曲げない頑固親父で、学生には必ずしも適切・適任であったとは言えない反面教師であったと反省しています。しかし、多くの学生、諸先生方の支援と援助のお陰で、研究面では、恩師の高坂淖爾先生が追究されていたイネ・いもち病菌の病害抵抗性、レース変異に関する研究を少しは前に進めることができたのではないかと感謝しています。ただ、顧みるとただただ未熟で未完な仕事ばかりに忸怩たる思いに駆られてしまいます。最後に、「知」の生産場所として、本学が益々発展し、学生、教員の潜在的基盤が整備されることを祈念しています。

農学研究院教授 畠山 史郎



平成19年4月に独立行政法人(当時)国立環境研究所より環境資源科学科教授として転任して参りました。在任期間9年という短い間ではありましたが、学科、専攻の先生方や学生達と教

育や研究に携わらせて頂き、大変貴重な時間を過ごすことができました。研究所では部下や同僚がいても皆それぞれ自分の研究テーマで動いていますから、協力し合うことはあっても、基本的には一人一人独立です。しかし大学では学生が手足となって研究を進めてくれるので、教員は様々な雑用に追い回されていても、学生達の奮闘によって研究所時代以上の成果を上げることができたと感じています。間違いなく大学での研究活動は学生への生きた教育を与えるものであると言うことを実感することができました。東京農工大学の学生は粘り強く、まじめです。彼らを指導し

て研究を進めることができたことは、何者にも代えがたい経験となりました。東京農工大学が今後益々そのプレゼンスを高めて行かれますようお祈りいたします。

農学研究院教授 平澤 正(農S48)



昭和48年5月に採用されて以来、42年余りの間本学にお世話になりました。この間の科学と技術の進歩は目覚ましく、農業も大きく変化しましたが、一貫して作物の多収性とストレス耐性をキーワードに研究と教育活動を進めてきました。「勉強と研究には年齢、身分は関係ない、あるのは対象だけである」をモットーに学生の皆さんと一緒に取り組んできました。研究成果が蓄積してきたころに、進展著しいゲノム科学を研究に適用できるようになったことは大変に幸運でした。圃場で作物収量の鍵となる形質を見出して遺伝子座を推定し、これを作物に導入して確認するという一連のプロセスは研究の醍醐味を感じさせるものでした。これを学生達と一緒に味わうことができました。現在人間が直面している課題の多くにおいて、解決に向けていろいろな専門からのアプローチが求められます。バイオマスエネルギーをキーワードに学内の約30名の多分野の先生方と取り組んだプロジェクト研究は楽しい思い出として心に強く残っています。本学の多くの皆様からの温かいご支援がなければ、このように楽しい教員生活を送ることはできませんでした。心より感謝申し上げます。

農学部附属硬蛋白質利用研究施設教授 西山 敏夫



1975年に(株)資生堂に入社し、経皮吸収、発毛・育毛、皮膚老化に関する皮膚の生物学的基礎研究を行ったのち、「コラーゲン」繋がりで2003年10月に農

学部附属硬蛋白質利用研究施設の教授として赴任しました。以来、皮膚をターゲット器官として、基底膜や真皮の構造・機能、力学的・電気的刺激の細胞機能に及ぼす影響についてマトリックス生物学的観点から研究を進めてきました。企業での研究に長く携っていたため、大学での教育研究とのギャップを感じつつも、研究施設、応用生物科学科、そして農学部の皆様の温かいご支援により12年間の研究を締めくくることができました。また、大学にとって重要な学生の教育についても、研究を通し若い世代の芽を育むことができたと思います。これも、農工大という素晴らしい環境があったからと感謝しております。今後も本学が益々発展することを祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。

工学研究院教授 清水 本裕



日野市の明星大学に8年間勤めた後、1987年から2016年まで29年間農工大でお世話になりました。大学の改組に伴って所属先が換わり、農学部(一般教育部)に8年、工学部言語文化科学講座に3年、工学部情報コミュニケーション工学科に11年、工学部有機材料化学科に7年在籍しましたが、一貫して教えてきたのは共通科目としてのドイツ語です。

グローバル化の進展とともに世界共通語としての英語の重要性がますます高まる中で、学生に第二外国語を履修させるメリットは何でしょうか。いろいろありますが最大の意義は、英米圏以外の言語を教えることによって、英米圏以外の民族や文化に対してもリスペクトを涵養することだと私は思います。一般教育部があった頃、第二外国語の選択必修単位数は8単位でしたが、大学改革のたびに減少して現在は2単位となりました。けれども、2単位でも履修しないよりはずっと良いことなので、本学の第二外国語教育が今後も維持されることを願ってやみません。

工学研究院教授 鈴木 康夫



平成12年4月1日付けで工学部電気電子工学科に教授として着任してから16年が経ち、本年3月に定年退職いたしました。着任当初の東小金井駅は、階段が急

で高く、定年までこの階段を登り続けることができるか心配もありましたが、今では駅もモダンに改築され、年寄りでも楽にホームに辿り着くことができるようになり、どうにか定年まで通い続けることができました。着任時の印象は、「冬の富士山を始め、春の桜、秋の銀杏」と四季を感じ取る事ができる風情豊かな大学だと思いました。駅近辺の飲み屋や居酒屋には美味しい酒があり、刺身が美味しかったのも覚えています。年とともに、そんな居酒屋の数も減り、桜の数も減り、富士山が見え難くなっていくのを見て少々寂しい気もしています。

着任前は、企業で「物」づくりに追われる日々を過ごしてきましたが、大学では「人」づくりに追われる日々を過ごしてきたように思います。色々な学生と出会い、物づくりでは得られない沢山の感動を得ることができました。良い意味で、世間を騒がす卒業生が沢山出てきてくれることを楽しみにしています。

討論型講義のコツ

工学府教授 伊藤 雅行



ハーバードのサンデル教授が数百名の学生を相手に指名を繰り返しながら、政治哲学の本質に迫っていく映像を見て、あんな講義ができれば、と感じる教員は

少なくないだろう。

企業から転身直後、口述試験でペアとなった先生に教えを乞うたところ、「学生に一番好評なのは、自分が喋らない講義だ」と伺い、なんて偉い方がいらっしゃるのかと思った(堤正臣先生。後で知る)。あれから10年、今ではガイダンスも討論で始めている。

高名な先生に「討論が発展しない」悩みを打ち明けられた。教員が答えを持っている素振りを見せれば、学生は決して口を開かないだろう。学生も大きなプレッシャーを感じている。コース中盤で「発言したいがどうしてもできない」とのメール。結局発言はなかったが、後に挨拶に寄られ、企業の面接では誰よりも積極的に発言できたとのこと。

おわりに、教員にしておくのがもったいないほど巧みな討論を繰り返す先輩のアドバイスを二つ:「動け」、「問え」。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成29年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

〔農学研究院〕

- 岩淵 喜久男 教授
- 石川 芳治 教授
- 岡山 隆之 教授
- 植竹 照雄 教授

〔工学研究院〕

- 守 一雄 教授
- 北澤 仁志 教授
- 長岐 滋 教授

〔国際センター〕

- 馬場 眞知子 教授
- 御園生 保子 教授

〔保健管理センター〕

- 早川 東作 教授

〔学術研究支援総合センター〕

- 丹生谷 博 教授

(氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです)

平成27年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業とは、母校援助の一環として本学学生の皆さんの学会発表やコンテスト・コンクールへの出場、学科の選考による優秀卒業論文表彰、種々の課外活動に対して援助金を支給し、支援する事業です。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成 27 年度の援助金総額は 6,122,480 円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事項	件数	金額
学会発表 <参加・出場>	538 名	2,690,000 円
学会発表 <入賞>	69 名	690,000 円
コンテスト・コンクール<出場>	8 名・25 団体	290,000 円
国際大会出場	2 団体 (15 名)	75,000 円
コンテスト・コンクール<入賞> (国際大会含)	7 名・10 団体	170,000 円
優秀卒業論文	10 学科	100,000 円
課外活動 <学園祭>	2 件	200,000 円
課外活動 <サークル活動>	20 件	1,000,000 円
課外活動 <リーダーストレイニング>	1 件	33,620 円
キャリアアドバイザー支援	2 名	120,000 円
卒業・修了証書カバー支給	1,674 名	753,860 円
合計		6,122,480 円

※詳細については、同窓会ホームページ (<http://tuat-dousoukai.org/guide/student.html>) をご覧ください

よろこび

= 平成 27 年度受領学生のコメント =

村上 詩歩さん(応生H26、生化院H28)

この度、花粉症モデルマウスの確立について発表した論文に対して、日本農芸化学会より論文賞をいただきました。この受賞ならびに一連の研究活動に対して、同窓会の皆様から高く評価をいただきましたことを大変光栄に感じております。学会発表等、研究活動を行う中で、同窓会からのご支援はとて心強く、研究に打ち込む大きな励みとなりました。これからは農工大で学んだことを糧として、社会に恩返しができるようにさらに精進してまいります。

本当にありがとうございました。



澤口 英理奈さん(機シスH28、在学中)

この度、国際学会において、移動壁面上を浮遊する液滴に関して発表を行い、Prize for best high-speed video (ベストハイスピードビデオ賞)を受賞させていただきました。その際、同窓会から援助をしていただいたことを深く感謝いたします。研究活動より得られた成果について多くの方々から評価していただき、また、その実績を同窓会からご支援していただき、とても嬉しく光栄に思います。

これらの援助事業は、私たち学生が研究生生活を推進していく上で心強い助けとなり、さらにモチベーションの一端を担っています。

これからもご支援に恥じぬよう、そして更なるご支援をいただけるよう、より一層の研究活動に邁進していこうと思います。



第58回農工祭

11月11日(金)～13日(日)
今年は府中地区のみ開催!!

詳しくは、[東京農工大学 農工祭](#) [検索](#)

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好部会、クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

部会だより

蚕糸生物学部会総会



開催日 平成27年10月17日(土)
 開催場所 50周年記念ホール
 派遣理事名 草野 洋一 同窓会長
 参加人数 120名
 実施事項 蚕糸生物学部会総会及び懇親会
 幹事・報告者 普後 一(養蚕S46)

<幹事のコメント>

総会は安藤俊幸部会長より、財務状況の説明と同窓会員の動向についての説明がありました。蚕糸生物学部会は平成5年度をもって卒業生・修了生はいない状態であることも説明されました。懇親会は、本間 慎名誉教授のご発声で開始され、草野洋一・東京農工大学同窓会長から、蚕糸生物学部会総会開催への感謝と卒業生としての誇りが語られました。また國見裕久東京農工大学副学長から、東京農工大学の学生、教員、職員の活躍等についてお話がありました。懇親会では先輩、後輩、同期生等々との和気あいあいとした雰囲気の中で進行しました。懇親会の最後に濱野國勝名誉教授先生からご挨拶があり、再会を皆で祈念しながら、散会いたしました。

BASE 創立 20 周年記念シンポジウム



日時 平成28年2月6日(土)
 開催場所 小金井キャンパス新一号館グリーンホール
 派遣理事名 赤井 伸行 常務理事
 参加人数 124名
 実施事項 記念式典および祝賀会
 幹事・報告者 赤井 伸行(環資H11)

<幹事のコメント>

農学部、工学部、一般教養を融合した生物システム応用科学研究科(BASE)が創立20年となりました。シンポジウムは松永是学長のご挨拶に続き、来賓として宮田清蔵 初代研究科長(元学長)、小畑秀文 第二代研究科長(前学長)から激励をお受けしました。招待講演として、本学卒業修了生である和田義明様(キュービー(株)常務取締役)、角井寿雄様(ライオン(株)取締役)、村上秀人様(カルソニックカンセイ(株)副社長執行役員)から、ご祝辞と共に「農工融合」、「イノベーション」、「学生に期待すること」など幅広いお話しをいただきました。最後に、神谷秀博学府長から「今のBASE」についてご紹介いただき、シンポジウムは閉会となりました。祝賀会では、堤正臣前学府長(現副学長理事)のご挨拶、岡崎正規 元学府長による乾杯の後は、BASE設立時の苦労話・裏話やBASEの将来などで大いに盛り上がり、予定時間を大幅に超過しての終了となりました。シンポジウムの様子は同窓会BASE部会Facebookでも写真とともに報告しております。

シンポジウムに先立ち、同窓会BASE部会の役員会が行われ、二見BASE部会長から部会員連絡先の収集・整備を要請されました。当面はBASE部会Facebookにて各種情報を発信していきますので、BASE部会Facebookをぜひご活用ください。

MOT 部会総会

日時 平成28年4月9日(土)
 開催場所 東京工業大学田町キャンパスイノベーションセンター
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 20名
 実施事項 基調講演、平成27年度活動報告と平成28年度活動計画
 幹事・報告者 加藤 美治(MOT H21)

<幹事のコメント>

基調講演は、元MOT教授の松下先生にお願いし、ビックデータとヘルスケアに関してお話頂いた。

久しぶりに昔のメンバーに会い、楽しい時間を共有できた。参加者からは、講演に対する質問も活発に行われ、より理解が深まったと思われる。

その後、平成27年度活動報告、平成28年度活動計画を説明し了承された。総会終了後は、懇親会を開催し更なる意見交換が行われた。

支部だより

岩手県支部



日時 平成28年1月16日(土)
 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡
 派遣理事名 馬場 眞知子 常務理事
 参加人数 15名
 実施事項 2015年度会計報告および2016年度計画、支部活動体制、会則について
 幹事・報告者 谷内 博規(林産H5)

<幹事のコメント>

岩手県支部(支部長 東野 正)では、昨年からの毎年活動を行うこととしております。

今年の総会は、参加人数15名となり、会の継続的な活動のため、会則の見直し等を行いました。また、常務理事の馬場眞知子先生を迎え、農工大の近況を講演いただきました。参加された方々には、新規の方々もおりましたが、馬場先生を囲み懇親を深め、楽しい集いとなりました。

今後も、同窓生が一人でも多く集まるよう活動を続けていきたいと思っております。

宮城県支部



日時 平成27年7月18日(土)
 開催場所 ホテル白萩
 派遣理事名 鈴木 創三 理事長
 参加人数 24名
 実施事項 支部総会(収入支出決算・予算、役員改選)、派遣理事によるミニ講演会、支部会員の顧問の推挙に係る報告及び感謝状の贈呈、懇親会
 幹事・報告者 大類 清和(林H2)

<幹事のコメント>

それぞれの立場で東日本大震災からの復興に取り組んでいる会員が集い、今年も支部総会が開催されました。

当日は、当支部の真木会員(S48蚕糸卒)が、同窓会顧問へ推挙されたこととお披露目するとともに、本部来賓の鈴木創三理事長から同会員に感謝状が贈呈されました。また、鈴木理事長によるユーモア溢れる講演会も行われ、懇親会では世代を超えた交流で盛会裡に終わりました。

なお、今年の参加者は、初々しい新卒の会員も含めて平成卒組が、昭和卒組を初めて上回り、若い力による支部の更なる発展と将来にわたり持続可能な活動が期待される会となりました。

埼玉県支部



日時 平成27年7月26日(日)
 開催場所 バイオランドホテル
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 30名
 実施事項 平成27年度総会及び懇親会
 幹事・報告者 永留 伸晃(林H2)

<幹事のコメント>

平成27年7月26日に、支部会員30名及び本部理事の亀山秀雄先生に御出席を賜り、平成27年度埼玉県支部総会を開催しました。

総会では、平成26年度事業報告並びに決算報告、平成27年度事業計画並びに予算案、役員の改選について審議され承認されました。

また、亀山先生より御挨拶を頂き、大学の近況などについてお話をいただきました。

総会終了後の懇親会では、懐かしい大学の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

今年度は新規会員が3名参加するなど、昨年度よりも多くの参加があり、賑やかな懇親会となりました。

東京都支部



日時 平成28年6月25日(土)
 開催場所 東京農工大農学部本館、キャンパス内植物工場及び50周年記念ホール
 参加人数 総会9名、講演・懇親会約80名
 実施事項 事業報告、事業計画、講演(本学農学研究院院長 荻原 勲教授による講演「植物工場の現状と展望」及び植物工場見学(主催:At-Netz、協力:東京都支部))
 幹事・報告者 渡辺 彰(農工S43)

<幹事のコメント>

総会では、東京都支部の活動は「けやきクラブ」の開催と同窓会同好部会「農工大支援ネットワーク(At-Netz)」との協働に置かれていることが、馬場信行支部長(林S35)より報告され、島山晃幹事(林S40)から話題提供があり、「けやきクラブ」の参加者増員、「At-Netz」との連携、同窓会ホームページの活用など、今後の課題が協議されました。

「農工TECの会」は、農工大の技術を同窓会員の枠を超えて、広く一般市民にも紹介することが意図されています。今回東京都支部は「協力」という形で参画し、「けやきクラブ」の参加者に総会開催通知と「農工TECの会」のパンフレットを送り、東京都支部総会の行事に組込ませていただきました。

荻原勲先生による講演の後は、植物工場見学が研究員による丁寧な案内のもとに行われ、一年間に2度の収穫が可能で、大きいものは500円玉大に及ぶというブルーベリーの試食もできました。

懇親会是一般起業家も交え、北海道余市からの「平川ワイン」や植物工場から持ち込まれた採れたてレタスなどを囲み、大いに盛り上がりました。

けやきクラブ:

開催日時:毎月第3火曜日(休日・祭日の場合は翌日)、18時~20時

開催場所:新宿東口ライオン会館 地下1階ビヤホール

新潟県支部



日時 平成27年6月5日(金)
 開催場所 柳都庵
 参加人数 18名
 実施事項 支部総会
 幹事・報告者 高橋 紀男(農工S60)

<幹事のコメント>

議案審議の他、参加者の自己紹介からその後の懇親会は、世代を越え母校での思い出や旧友のことなどに花を咲かせ、大いに盛り上がりました。

富山県支部



日 時 平成28年3月12日(土)
 開催場所 松や本店
 派遣理事名 渡邊 敏行 常務理事
 参加人数 17名
 実施事項 総会及び懇親会
 幹事・報告者 飯野 師(地生H18)

<幹事のコメント>

平成27年度の富山県支部総会を渡邊事業副部長をお迎えして開催しました。

北陸新幹線開業1周年を迎える週末の開催ということで、北陸新幹線にご乗車され、来県された渡邊先生のご感想を伺い、改めて北陸新幹線の開業効果をかみ締めることができました。

総会では、支部長ならびに支部代議員の交代が議決された他、渡邊先生からの、大学改革による農工大学が特色を強め、屈強の他大学と差別化している取組やSNSを活用した同窓会の活性化方法を含めた近況報告に、驚きと感心を繰り返しておりました。

懇親会でも、初参加の面々が多く、自己紹介から互いの近況など、大変盛り上がった懇談となりました。

近年若い世代の参加が増えており、今後も幅広い世代から参加していただけるよう工夫してまいります。

石川県支部

日 時 平成28年2月26日(金)
 開催場所 金沢セントラルホテル
 参加人数 8名
 実施事項 総会及び懇親会
 幹事・報告者 西山 宏(環・資H6)

<幹事のコメント>

金沢駅近くの会場で、総会及び懇親会を開催しました。

当日は春の陽気を感じさせる暖かな日となり、昭和46年から平成8年卒までの8名の参加者が、昔話やそれぞれの近況等の報告、今後の活動内容について意見を交わし、親睦を深めていました。

今後とも幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の和を広げていくことを皆で誓い閉会となりました。

福井県支部



日 時 平成28年3月12日(土)
 開催場所 ニノ丸グリル
 派遣理事名 朝倉 哲郎 先生
 参加人数 19名
 実施事項 支部総会、朝倉研究室の紹介、懇親会
 幹事・報告者 新海 隆介(環・資H12)

<幹事のコメント>

福井県支部同窓会は、久しぶりの開催にもかかわらず20名のご参加をいただきました。

福井県と何かとご縁のある朝倉教授にもご参加いただき盛会となりました。

下は20代から上は80代まで幅広い支部会員の参加となりましたが、同窓の間柄か、すぐに打ち解けて楽しい懇親会となりました。写真のとおりです。

今後とも親交を深めていきたいと思っております。

山梨県支部



日 時 平成28年3月12日(土)
 開催場所 ホテル談露館
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事
 参加人数 32名
 実施事項 事業報告、会計報告、役員改選、懇親会
 幹事・報告者 中井 薫(農工S60)

<幹事のコメント>

去る平成28年3月12日(土)、「ホテル談露館」(甲府市)において、第14回総会が会員32名の出席のもと、本部常務理事の野村義宏教授のご臨席をいただき盛大に開催されました。

議事に入る前、一昨年の前回総会からこれまでに支部事務局に連絡のあった15名の物故者を紹介し、黙祷によりご冥福をお祈りしました。

総会では今期事業報告、会計報告に続き役員改選が行われ、川口忠男支部長(養蚕S41)ほか、新たな役員が選出されました。

懇親会では、出席者の皆さんから近況報告が行われ、お互いの顔を見合わせながら旧交を温めることができました。

長野県支部



日 時 平成27年11月8日(日)
 開催場所 ホテル信濃路
 派遣理事名 鈴木 創三 理事長
 参加人数 38名
 実施事項 支部総会、新役員選出、懇親会
 幹事・報告者 城取 和茂(農工H3)

<幹事のコメント>

信濃同窓会(長野県支部)は、平成27年11月8日(日)長野市内のホテル信濃路で27年度定期総会を開催しました。

2期4年間会長を務めた鮎沢光昭氏(蚕糸院S44年卒)が退任、副会長の吉田宮雄氏(獣医S47年卒)が新会長に選出されました。同時に新副会長には、飯島章彦氏(植防S50年卒)が就任するとともに、幹事長も相馬正博氏(農学S53卒)から、所弘志氏(農工S58卒)へ交代しました。

総会は県内各地から38名が出席、来賓として同窓会本部から出席頂いた鈴木創三理事長(名誉教授)から祝辞と基調講演を頂戴し、平成25・26年度会計報告、27年度予算等の議案が承認されました。

続く会員からの近況報告では、上田市在住の畜産家 峯村富治氏(農学S48卒)から講演頂き、樺寮長だった自身の思い出話に参加者の心も一気にタイムスリップし、大病を乗り越えた貴重な人生談に強く感銘を受けました。

その後、恒例の懇親会が盛大に開催され、参加者の最高齢は89歳、最年少が28歳でしたが、皆すっかり大学時代に戻って昔話に花を咲かせていました。今回は、鈴木理事長から「あぞみの歌」を披露頂くタイミングが無くちょっぴり残念でしたが、最後は、校歌を全員で熱唱し締めくり、2年後の再会を誓い合ったのでした。

静岡県支部



日時 平成28年3月6日(日)
 開催場所 クーポール会館
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 45名
 実施事項 総会:平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画、講演:「しずおかの在来作物の継承」
 幹事・報告者 石川 晴子(地生H16)

<幹事のコメント>

昨年引き続き、45名の諸先輩方に集まっていただきました。今年度は「しずおかの在来作物の継承」というタイトルで、富田涼都様(静岡大学准教授)にご講演いただき、質問も多くあって盛り上がりしました。

お越しいただいた野口先生には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

三重県支部



日時 平成27年9月6日(日)
 開催場所 新玉亭
 派遣理事名 鈴木 創三 理事長
 参加人数 13名
 実施事項 本部総会報告・役員改選・大学の近況報告・鈴木先生から土壌学についての講演・懇親会
 幹事・報告者 西野 実(農H7)

<幹事のコメント>

本年も、「新玉亭」にて三重県支部の総会と懇親会を開催しました。参加人数は13名と例年よりやや少なめでしたが、昭和21年卒業の尾崎伸夫さんに久しぶりに参加いただき、昭和47年卒業の鈴木正夫さんにも初めて参加いただきました。

鈴木先生からは、大学の紹介とともに、土壌についてのご講演をいただきました。ありがとうございました。

懇親会も盛況のうちに終わることができました。

大阪府支部



日時 平成28年3月6日(日)
 開催場所 ガーデンシティクラブ大阪
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事
 参加人数 34名
 実施事項 2014年度、2015年度会計報告、来賓ご挨拶、懇親会

幹事・報告者 中野 淳(機械S60)

<幹事のコメント>

野村先生より、農工大の現状と先生の研究されている内容を我々の身近な話題に分かり易くご講演頂き非常に興味深く拝聴させて頂きました。特にコラーゲンが骨粗鬆症に非常に効果的でカルシウムの摂取より効率的だというお話には、驚くと共に身近で今後の生活に有益な話題でした。

懇親会では、自己紹介の時に、駒場小唄や西ヶ原寮歌も披露する先輩方の挨拶に一同大いに盛り上がり盛況の内にお開きを迎え、最後に副支部長の挨拶で次回の再会を約束しました。

京都府支部



日時 平成27年9月5日(土)
 開催場所 祇園 花咲
 派遣理事名 赤井 伸行 常務理事
 参加人数 11名
 実施事項 支部総会、交流会
 幹事・報告者 西村 寿(農工S50)、松井 崇(農工S51)

<幹事のコメント>

支部活動を再開して6回目となる今年の同窓会京都支部の総会・交流会が、同窓会本部から赤井伸行常務理事(平成3環境資卒)をお迎えして11名の参加で行われました。

総会では西村寿支部長(昭50農生産工卒)のあいさつに続いて来賓の赤井常務理事からお祝辞をいただき、会計報告を承認しました。

平成25年12月にユネスコ無形文化遺産(世界遺産)に「和食」が登録されました。京都では官・民・学による「和食」に関する様々な取り組みが行われており、今年の交流会は「和食」の代表格である「京料理」をテーマに、赤井伸行常務理事の乾杯の発声により行われました。京都・祇園の細い路地奥にある「京料理 花咲」を会場に、季節感あふれる「京料理」に「おいしい」「うまい」の連続で、舌鼓を打ちながらゆったりとした雰囲気の中、農工大学の輝かしい歴史と活躍や最近の学生の心のケアの問題、学生当時の逸話などが紹介され、たいへん盛り上がった会となりました。

なお、有志数名はやはり「京の伝統文化」が恋しく、宮川町の「お茶屋さん」に繰り出し今年も舞妓さんとのふれあいを大切にしています。

滋賀県支部



日時 平成26年1月18日(土)
 開催場所 ホテルポストプラザ草津
 派遣理事名 服部 順昭 先生
 参加人数 21名
 実施事項 総会、特別講演、懇親会
 幹事・報告者 南井 隆(林S63)

<幹事のコメント>

総会では役員を選任いただき、会計報告等の報告をさせていただきました。

特別講演では「大学の近況報告と最新の木材利用技術」をテーマに約1時間ご講演いただきました。服部先生は建築用不燃材の研究で成果をあげておられ、大変興味深いご講演内容でした。参加者からの質問では林産以外にも繊維関係のOBからも仕事で不燃の研究をしていたとの話もあり学問は広い分野で関連しており異業種連携が新たな成果に結び付くのではと感じました。文京区、椿山荘となりの野菜倶楽部 oto no ha Café(オトノハカフェ)で実用化されていますので興味のある方は一度ランチにご利用されてはいかがでしょうか。

さて懇親会では、美味しい料理にお酒、自己紹介に談笑に、あっと

言う間の2時間半でした。最後に大学の校歌と駒場小唄を参加者全員で歌い、散会となりました。次回は少し趣向を変えた同窓会を企画しています。多くの方の参加をお待ちしております。

岡山県支部



日 時 平成27年8月8日(土)
 開催場所 ピュアリティまきび
 派遣理事名 大里 耕司 常務理事
 参加人数 18人
 実施事項 総会及び懇親会
 幹事・報告者 佐藤 和久(農S54)

<幹事のコメント>

8月8日(土)岡山市にて平成27年度岡山県支部総会を開催しました。

内藤支部長の挨拶に始まり、岡崎進香川県支部長から「宅地建物取引業者と上手に付き合おう!」の演題で講演をして頂きました。

業務に関わる法律の変遷や現場での生々しい実態などの興味深い内容に、参加者は真剣に聞き入っていました。

続いて本部から来賓としてお招きした大里総務部長から母校の近況をスライドを交えて紹介頂きました。

懐かしい光景の中に、母校の発展を象徴する施設の充実を見て、参加者からは感嘆の声が上がっていました。

その後、自己紹介を交えた懇親会に移りました。初めて参加する会員もおり、互いの情報交換を図れました。

二次会にはほとんどの参加者が出席するなど、近年にない盛り上がりを見せました。

広島県支部



日 時 平成28年2月21日(日)
 開催場所 メルパルク広島
 派遣理事名 赤井 伸行 常務理事
 参加人数 12名
 実施事項 会計報告、役員承認、大学の現況報告等
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

平成12年から務めてきた支部連絡員と、平成13年から務めてきた支部代議員を石田一之さん(機械S59)と交代することになりました。

この間、ご支援をいただいた本部役員と事務局の皆様、支部長を始め支部会員の皆様、ありがとうございます。

今後とも広島県支部の活動へのご支援をよろしくお願い致します。

山口県支部



日 時 平成27年7月12日(日)
 開催場所 笠戸島ハイツ
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 10名
 実施事項 ミニ講演会、支部総会
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

<幹事のコメント>

今回は、瀬戸内海に浮かぶ下松市笠戸島にて開催しました。

生憎の雨模様でしたが、瀬戸内海を望んでのミニ講演会、支部総会・懇親会は、講演を引き受けてくださった野口先生をはじめ、集まった支部会員の方にも満足していただけたと思います。

参集メンバーが固定化された感が否めない当支部ですが、来年も元気に再会したいと思います。

鳥取県支部



日 時 平成28年2月7日(日)
 開催場所 東郷温泉「水明荘」
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 11名
 実施事項 ・平成27年事業報告、会計報告
 ・平成28年事業計画
 ・講演:同窓会および大学の現状報告
 講師:広報・情報部長 亀山 秀雄 常務理事
 幹事・報告者 門脇 互(製糸S54)

<幹事のコメント>

総会での平成27年事業報告と会計報告、平成28年事業計画の説明の後、本部からご出席いただいた亀山常務理事から「東京農工大学同窓会および大学の現状報告」と題して、同窓会の活動状況、実践科学リーディング大学院の紹介ビデオも交えて、母校の最先端の動きや各支部の地域への貢献のための同窓会利用方法など、貴重なご講演をいただきました。

引き続き懇親会では、亀山先生からの母校の様子、同窓会を上手に使うと地域と連携していくお話や、出席者からの学生当時の話や近況報告など、少人数ながら大変盛況な同窓会となりました。

これからも鳥取県在住の会員確認を行うとともに、若い世代の出席も促しつつ、より多くの会員が出席いただけるよう充実した楽しい支部にしたいと考えています。

香川県支部



日 時 平成27年10月24日(土)
 開催場所 リーガゼストホテル高松
 派遣理事名 滝山 博志 副理事長
 参加人数 12名
 実施事項 支部総会、懇親会
 幹事・報告者 河野 幸彦(林S63)

<幹事のコメント>

平成27年10月24日(土)に同窓会本部理事として、工学部化学工学システム学科滝山博志先生をお招きして、リーガゼストホテル高松で開催しました。

香川県支部では、平成24年から本部からの理事をお招きしての支部総会としており今回は、岡崎支部長をはじめ12名の参加者で開催されました。

会は、岡崎支部長の挨拶で始まり、滝山先生による同窓会本部での

動向、現在の農工大学についての情報に引き続き、滝山先生の専門である分子レベルでの結晶というわかりやすい事例を参考に化学についてのトピックなどについてPCで教えていただきました。先生はさすがBest Reviewer Award(Journal of Chemical Engineering of Japan)をはじめ数々の優秀講義賞を受賞されており、化学が苦手だった私にでもよく理解できました。

その後、懇親会に移り、参加者の自己紹介、近況報告、支部関係者の近況報告等を交えながら和やかに会は進み、岡崎支部長から、来年度は近隣の支部と共同開催ということも検討し、県内だけでなく、地域で同好会の交流を図ろうというお話も話題に上がっていました。

また、今回は、県内の大手メーカーに就職した若手の参加もあり、少しでも若手が参加し易いよう工夫しなければとも痛感しました。来年度も同じ会場で、10月末に再会することを約束して、参加者皆様方のご健勝を祈念して第15回の香川県支部総会を終えました。

徳島県支部



日時 平成27年10月31日(土)
 開催場所 魚一番 新
 派遣理事名 西澤 宇一 常務理事
 参加人数 6人
 実施事項 収支報告 近況報告 懇親会
 幹事・報告者 小杉 純一郎(林S63)

<幹事のコメント>

本部から西澤先生に来ていただき、最近の大学の様子を教えてくださいいただいたり、懇親会では皆さんの近況を伺ったりで、とても楽しい同窓会でした。

愛媛県支部

日時 平成28年3月20日(日)
 開催場所 チャイナ白鵝
 参加人数 7人
 実施事項 ①門屋前支部長の瑞宝章受章に関する報告
 ②農工通信への寄稿者選定
 ③支部構成員のメールアドレス収集
 幹事・報告者 尾中 直道(林H7)

<幹事のコメント>

①役員に受章の報告を行うとともに、本人より受章内容及びそれに至るエピソード等の紹介があった。今回は、役員のみ集まりだったが、次回の支部総会では、講演を予定することとした。

②愛媛県支部からも投稿することを確認後、寄稿者の選出を行った。愛媛で開催されている「俳句甲子園」に関わっている本役員が寄稿することとした。

③メールアドレス収集の困難性、管理上の問題点への意見が出され、本部での状況等を確認の上、次回総会で審議することとした。

役員会後、ささやかではあるが門屋前支部長のお祝い会を行った。

長崎県支部



日時 平成27年8月1日(土)
 開催場所 観光ホテル 八千代
 派遣理事名 草野 洋一 会長
 参加人数 13名
 実施事項 ①支部総会、②研修会、③交流会(懇親)
 幹事・報告者 古賀 淳士(農S52)

<幹事のコメント>

長崎県支部では、2年に一度の年度末総会(懇親会)を開催していましたが、平成24年度末総会で新支部長に就任された片岡正登氏(S48製糸)の「本部総会を受けて支部総会を開催したい」という意向を踏まえ、今回は約2年半ぶりに総会を開催しました。

開催にあたり、草野洋一同窓会長(S60~62年度に本県農林部へ農水省から出向)にご相談し、総会への出席を快諾頂きました。

総会は出席者13名と委任状35通で成立し、隔年総会の明記等の規約改正と活動計画を承認。研修会では草野会長から「歴史を超えて～本部活動と長崎への想い～」と題してご講話を頂きました。

交流会では、片岡支部長が本部総会上京の折に撮影された府中・東小金井両キャンパスと青春時代の櫛寮集合写真をスクリーンで紹介され、草野会長を囲んで楽しいひと時を過ごしました。

熊本県支部



日時 平成27年6月13日(土)
 開催場所 熊本交通センターホテル
 派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事
 参加人数 32名
 実施事項 平成26年度熊本県支部会計報告、熊本県支部会員の動き、役員改選について
 幹事・報告者 小野 亮太郎(農S63)

<幹事のコメント>

・淵野先生より、現在の農工大学の概要や文科省の取り組み等について話題提供され農工大の近況を詳しく紹介していただきました。会員皆懐かしい大学の話題に加えて、近年話題になっている文科省の取り組みなど新しい情報に触れることができました。

・各会員からそれぞれの近況について報告を行い、相互の情報交換の場となりました。

・本年は出席者32名と多数の会員が出席され、盛況な総会、懇親会となりました。各出席者からの近況報告では、古い話や新しい話が様々に飛び出し、年配の方から若手の方まで、同じ学舎での一体感から親近感あふれる会話で盛り上がっていました。

・来年もまた多くの県支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

宮崎県支部



日時 平成28年1月30日(土)
 開催場所 ホテルメリージュ
 派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
 参加人数 22名
 実施事項 平成26年度実績及び会計報告
 平成27年度計画及び収支予算
 幹事・報告者 井之上 英行(農IH4)

<幹事のコメント>

去る平成28年1月30日(土)に、宮崎県宮崎市の「ホテル メリージュ」において、会員22名の参加により、平成27年度宮崎県支部同窓

会を開催しました。

総会では、「平成26年度実績及び会計報告」、「平成27年度計画及び収支予算」が承認されました。

総会終了後は、会員それぞれの近況を報告し、楽しい同窓会となりました。

また、当日は同窓会本部へ理事派遣を申請し、広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センターの渡辺先生にお越しいただきました。渡辺先生から同窓会や大学の近況、地方支部での講演会の事例等について貴重なお話をいただき、会員は、卒業から久しい母校の近況に驚きながらも興味深くお話を聴かせていただきました。

鹿児島県支部



日時 平成27年11月21日(土)
 開催場所 和創亭くら蔵
 参加人数 12名
 実施事項 ①協議、平成26年度事業実績及び収支決算について、平成27年度事業計画及び収支予算について、その他、
 ②交流会

幹事・報告者 平 繁人(養蚕S45)

<幹事のコメント>

同窓会鹿児島県支部の平成27年度総会を11月21日(土)に鹿児島市で開催しました。参加者は12名でした。

総会では、上原会長挨拶の後、早速議事審議となり、26年度実績と27年度計画は異論なく承認されました。その他で、本部の新たな取り組みの講演会開催について熱心に検討しました。その結果、現状支部での今すぐ開催は難しいので、まずは支部活動への参加者を増やすことと、他支部の開催情報収集に努めることになりました。

交流会は、会場に冷房が入るぐらい熱く語らい、更に場所を変え、自慢の喉も披露しあった後、お開きとなりました。

横浜会



日時 平成27年6月20日(日)
 開催場所 華正樓本店
 参加人数 7名
 実施事項 第52回通常総会出席者の報告
 報告者名 加藤 裕二郎(製糸S44)

<幹事のコメント>

横浜会総会は開始予定の午後5時参加予定の7名全員が顔を揃え松島会長の開会挨拶で開始された。

第52回通常総会の報告の後、今回、参加を希望された安立昇氏(昭和23年製糸卒、昭和40年～48年に横浜会の会長をなされた故丸井浩七(糸T13)氏の御子息)の紹介、平成7年より21年まで会長を務めた三戸森領夫への同窓会本部長草野洋一氏よりの感謝状の贈呈の後、懇親会に入り昨年、世界文化遺産に認定された富岡製糸場、ラオスの蚕糸業についての話題を中心に大盛況のうちに滞りなく終了した。

クラス会だより

昭和43年入学農学科クラス会

農S47・48卒



開催日 平成26年11月15日(土)
 開催場所 横浜中華街「龍華楼」
 参加人数 13名
 実施事項 親睦・近況報告
 幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

<幹事のコメント>

平成26年6月28日の定期大会開催時にコンボン教祖(?)様から宣言された「横浜観光・中華街ツアークラス会」が開かれた。関内駅から横浜港官庁街・山下公園・中華街を散策・観光後、会場へ。フルコース料理と紹興酒で会は一気に盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。横浜を自分の庭(?)のように知る根本氏の案内で二次会は伊勢佐木町へ。今も耳に残る、いしだあゆみ、青江ミナの歌声に包まれながら、美しいイルミネーションのなか、横浜に別れを告げるのであります。

繊維工学科S30年卒クラス会

織工S30卒



開催日 平成27年3月24日(火)
 開催場所 新宿三平スターホール
 参加人数 11名
 実施事項 近況報告・親睦
 幹事・報告者名 平栗 昇

<幹事のコメント>

昭和30年繊維工学科を卒業して60年目のクラス会を3月24日(火)に行った。

クラス会を毎年行うようになったのはいつ頃から定かでないが、30年は続いている。当初は小野寺君(故人)が幹事を務めていたが、体調を崩されてから小生が担うことになった。10数年間毎年、熱海で行い、遠く石川県(石沢君)や愛知県(佐藤君)からも参加され、毎回17～8名の宿泊予約を取り賑やかにやってきた。

しかし、喜寿を迎えた頃から家庭事情で宿泊できない人が出てきたことから、都内で行うことにした。80歳のとき「これで最後にしよう」と言ったところ「まだまだやろうよ」と言うことになり今も続いている。

来年は3月23日予定しているので是非ご参加を。

昭和40年農業生産工学科卒クラス会

農工S40 卒



開催日 平成27年4月18日(土)
 開催場所 東京農工大学武蔵野荘ラウンジ
 参加人数 18名
 実施事項 卒50周年記念クラス会
 幹事・報告者 平林 弘義

<幹事のコメント>

昭和40年3月卒業から半世紀が過ぎた2015年4月18日、「卒50周年記念クラス会」を構内にある大学施設「武蔵野荘」にて開催しました。

昭和36年4月、新設された農学部「農業生産工学科」に、一期生として全国から入学した31名のクラスにて学部課程4年間共に勉学し、卒業後はそれぞれの立場にて活躍され、無事古希を迎えました。

現時点、物故者6名、不明者2名にて23名が元気に頑張っています。今回は都合がつかない者5名にて、18名の参加となりました。

昼前農学部本館前に集合し、50年が経過した学部内の研究施設見学、芽吹き映える構内散策をお忙しいところ、大里先生にご案内していただきました。その後会場の「武蔵野荘ラウンジ」にて大里先生から大学の近況等、西川前農林水産大臣から国政等いろいろとお話いただき、懐かしい楽しいひとときを持ちました。

昼から始まった宴会も、盛況のうち夕時にて再会を約し散会しました。

工学部繊維工学科S45年卒クラス会

織工S45 卒



開催日 平成27年5月18日(月)
 開催場所 がんこ銀座4丁目店
 参加人数 21名
 幹事・報告者 田村 誠一、田中 芳巳、水落 敏彦

<幹事のコメント>

S45年に小金井を巣立ち、あれから45周年も経過と歳月の経過の早い事。過去4回の開催を経て今回で卒業以来5回目のクラス会でしたが、卒業以来の再会もありました。懐かしく楽しみな会にて、全員集合時間前に集まり、時間厳守はさすがでした。

開催経過説明後、メンバー内にも故人となられている人がおり、ご冥福を祈り全員で黙とうをささげました。挨拶・乾杯の発声でスタートし昔を懐かしみながらの飲食は時間とともに盛り上がり、学生時代そのもののパワーでした。特に会員の過去・現在・未来への構想スピーチは、持ち時間の制限無視が多く、楽しく活気を感じました。(皆さん益々意気軒昂で頑張ってる)お蔭で幹事役は会場の延長と確保に気をもむほどの有意義な内容でした。

次回幹事は笹沼・長谷川の両氏が2年後開催と先の計画も決め、次回幹事役の音頭で中締めにてメ、その後は各グループに分かれ銀座の夜を時間の許す限り飲み、語り、満喫して頂きました。

人生これから、これからです。益々のパワーUPで次回の再会が楽しみです。

機械工学科S45年卒クラス会

機械S45 卒



日時 平成27年5月30日(土)
 開催場所 小金井キャンパス
 参加人数 13名
 実施事項 小金井キャンパス見学、親睦
 幹事・報告者 平本 翠

<幹事のコメント>

昨年に続き2回目のクラス会を思い出の地、小金井キャンパスで実施しました。今年の暑い5月を象徴するような青空の下、東門に集合。西澤助教より農工大の近況をプレゼンテーションして頂いた後、構内を案内して頂きましたが、その変貌振りには一同皆ビックリ。僅かに機械工学科実験棟に昔の面影が残っていただけでした。

記念撮影の後、エリプス3Fで待望の親睦会。初参加3名を迎え、46年前の4年時の研究室紹介の写真と見比べて名前と顔を思い出しつつ、懐かしい話から近況報告まで何時までも話が尽きず、あっという間に楽しい3時間が過ぎました。

写真は、前列左から平本、河合、武富、音羽、近藤、後列左から長谷川、西本、渋谷、小田、鎌田、市川、立石、米久保。

平成27年度東京農工大学林務関係同窓会

林、林産、環境、環資、地生 卒



開催日 平成27年6月13日(土)
 開催場所 「柚柚(ゆゆ)本川越店」
 参加人数 19名
 実施事項 近況確認、親睦
 幹事・報告者 田畑 琢己(林S62)

<幹事のコメント>

埼玉県内の林務関係者の同窓会です。前回の実施は平成18年でしたが、4名の新規採用者を迎え9年ぶりに集まりました。最年長者は林学科を昭和44年に卒業した同窓生から今春入庁した新規採用職員まで幅広い年齢層でした。

昭和43年入学養蚕学科クラス会

養蚕S43 入学



日時 平成27年6月13日(土)~14日(日)
 開催場所 福島県飯坂温泉

参加人数 6名
 幹事・報告者 堀 俊一(養蚕S47)

<幹事のコメント>

去る6月13日(土)、福島県飯坂温泉でクラス会を開催しました。65才を過ぎましたが、要職を続ける人、さん然たる名誉職の人(本同窓会会長)、ついに普通の人などと、多様でした。この点で、絶滅はまだ先です。

出席者近況や欠席者の伝言、学生時代の思い出に花が咲きました。大病をわずらった人や現在進行形の人、ほどほどに酒をくみかわし、かつ食が進みました。温泉も良く、静かな宿のいい夜でした。

御同窓の皆様、福島は、いいところですよ。

獣医S45年卒及び46年卒の有志のクラス会(四五六会)

獣医S45・46卒



開催日 平成27年6月13日(土)~14日(日)
 開催場所 伊豆長岡ホテル サンパレー
 参加人数 17名
 幹事・報告者 武藤 晴美(獣医S45)

<幹事のコメント>

事前に開催地をアンケートで集計し、希望の多かった富士山の見えるところの宿を探しましたが、箱根、河口湖は以前にもクラス会を開催しており、今回は伊豆長岡の一泊旅となりました。

3年ぶりのクラス会で、北は山形、南は高松、総勢17名。この参加人数は四五六会が始まって以来一番多かったのではないかと思います。

ゆとり世代に入ったのでしょうか。退職して時間的に余裕ももてる方、また現役で活躍している方などいろいろでしたが、残念ながらこの世代ならではの親の介護の為に参加できなかった方も数名いらっしゃいました。

夕食会でお酒がすすみ、その後はホテルのラウンジを貸切二次会のカラオケ大会になり、体型・外貌は変わったものの、おじさん・おばさんの気分は学生時代に帰り、更に盛り上がったのは言うに及びません。

翌日は、世界遺産の登録が期待された葦山の反射炉や葛城山頂から富士山の展望を楽しみました。生憎の曇り空でしたが世界遺産の山頂はくっきり美しく見えました。散策を楽しんだ後、昼食をとり三々五々帰路につきました。

次回のクラス会は2年後ですが、これからは毎年開催した方が良いでしょうと思うところもありました。

昭和43年入学農学科クラス会

農S47・48卒



開催日 平成27年6月27日(土)
 開催場所 東京駅「オールドステーション」
 参加人数 15名
 実施事項 親睦・近況報告
 幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

<幹事のコメント>

開会前に既に上機嫌(!?)になっている会員諸氏の「遅いぞお～」

という声と握手攻めに促されたMr.農工大(自称)の乾杯と挨拶で始まった今回は、小布施町会議員夫人の特別参加もあり、一味違った雰囲気を変えながら、和やかなひと時を過ごしました。近況報告では、町会議員・農業委員・老人クラブ・同窓会での奮闘記や、ジャズピアノ・100名山踏破・体幹の鍛錬・家庭菜園などのホビーライフ、農場実習・TV出演などが話されました。美味しいワインに話が弾み、益々盛り上がる中で、来年6月25日(土)の農工大キャンパスでの再会を固く約束して、半ば夢見心地の中での記念写真撮影後、めでたく御披露喜となりました。

平成12年卒環境資源科学科クラス会

環資H12卒



日時 平成27年6月27日(土)
 開催場所 東京大神宮 マツヤサロン
 参加人数 35名
 実施事項 クラス会
 幹事・報告者 太田 秀範・小池 真也・忍田 紀子

<幹事のコメント>

卒業後15年経った節目として、環境資源科学科2000年(平成12年)卒のクラス会を行いました。北は青森県、南は宮崎県から全35名という、ほぼ過半数のメンバーが集まり、大変有意義な時間となりました。

15年という月日が経ったものの、ひとたび話し始めればあの農学部で学んだ日々が一瞬で蘇ります。現在の農工大を撮影したスライド上映、メンバーを題材にしたクイズバトル、一発芸披露、農工大グッズ争奪ビンゴゲームなど、余興も盛りだくさんであったという間の3時間でした。

次回同窓会はまた15年後に開催することを誓って散会となりました。

西ヶ原寮41会

西ヶ原寮生S41卒



日時 平成27年7月1日(水)
 開催場所 紀州鉄道「熱海ホテル」
 参加人数 9名
 実施事項 近況報告と親睦
 幹事・報告者 若尾 俊雄(製糸S41)・小山 邦彦(電気S41)

<幹事のコメント>

工学部の旧西ヶ原寮は昭和42年に廃止され最後の寮生も古希を迎える年代になり、同窓会誌からも西ヶ原寮の名を見ることが少なくなりました。我々41年卒を中心とした「西ヶ原寮41会」は毎年熱海で同窓会を開催しています。昨年はその様子を同窓会のホームページに投稿したところネット上でも「西ヶ原寮41会」が見つかるようになりました。

これからも西ヶ原寮の名が残るように続けるつもりですが、年々参加者も減っています。今年の参加者は土屋・若尾・坂井・佐藤(角谷)・清水・井上(朗)・瀧上・山本(喜)・小山の9名でした。41年卒に拘わらず多くの方々の参加を希望します。

S46年林産学科卒OB会

林産S46卒



開催日 平成27年7月11日(土)
 開催場所 東京大手町サンケイプラザ
 参加人数 18名
 幹事・報告者 加藤 修

<幹事のコメント>

7月11日に昭和46年林産学科卒のOB会を東京大手町サンケイプラザにて催しました。名実共に高齢者の仲間入りをし、介護保険被保険者証を受け取ったのを機に約四半世紀ぶりの開催となりました。

九州、四国、関西、中部、東北、関東から18名が出席し、思い出話や近況報告などアツという間に時間が過ぎてしまいました。

今回は2年後の古希での再会を確認し閉会となりました。

広島県職員同窓会



開催日 平成27年7月25日(土)
 開催場所 中国料理 丸八
 参加人数 11名
 実施事項 懇親会
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

幹事が広島県庁に就職して36年目になりましたが、初めて職域での同窓会を開催することができました。退職された諸先輩方、在職中に開催できず申し訳ありませんでした。

広島県庁には、現在20名の同窓生が職員として勤務しています。当日はこのうち11名の参加がありました。卒業学科、採用職種、所属も異なりますが、府中キャンパスで過ごしたという共通の土台のもと、大変話が盛り上がりしました。

幹事が在職中にもう一度開催したいと思っています。

環境保護学科昭和55年卒業生クラス会

環保S55卒・環保4期生



開催日 平成27年8月22日(土)
 開催場所 50周年記念ホール

参加人数 16名
 実施事項 懇親会
 幹事・報告者 三宅 信行

<幹事のコメント>

約20年ぶりのクラス会となりました。卒業以来35年ぶりの再会となった同期もいましたが、集合場所とした5号館の前では「〇〇か」と昔の面影を確認していました。

その中で幹事だけはほぼ全員から「え!三宅」と変わりように驚かされてしまいました。(欠席された同期の皆さん、写真を見てわかりますか?前列向かって右から3人目です。)

懇親会では話が盛り上がり、ほぼ全員で国分寺駅南口での二次会に向かいました。

来年もまた企画することとなりましたので、同期の皆さん、ぜひ参加してください。

S31年農学科・農芸化学科合同クラス会

農・農化S31卒



開催日 平成27年10月2日(金)
 開催場所 有楽町「響」
 参加人数 農学科5名、農芸化学科2名
 実施事項 近況交換、親睦
 幹事・報告者 畑中 孝晴

<幹事のコメント>

今年は北海道の飛行機が欠航となったりして、少し人数が減りましたが、福島県から駆け付けた人もおり、楽しく旧交を温めることができました。

写真は左から畑中、栗原、秋本、齋藤、塚越、大和田、渋谷の7名です。

本年に入って萩原君が亡くなったり、病気がちの人もふえてきましたが、来年は卒業60周年になるので多くの方に参加して頂くよう努力したいと思います。

機械工学科三期生(昭和40年卒)同期会

機械S40卒



日時 平成27年10月16日(金)
 開催場所 御茶ノ水ホテルジュラク
 参加人数 22名
 実施事項 懇親、近況報告、情報交換他
 幹事・報告者 花村 圭一郎

<幹事のコメント>

幹事役は研究室持ち回り制で、今年は斎藤研究室が幹事を務めました。

同窓会の形式として、数年前よりクラスメートによる講話も含めるようになりました。今年は機械科卒業後50年にあたることから、沢田学夫君より「農工大学昔と今」と三村忠夫君より「55年間の日本と世界」を話して戴きました。皆さん自分の50年と対比しながら50年を振り返りました。

来年は10月14日開催とし、田中研究室が担当します。

S34年獣医学科卒クラス会

獣医S34卒



開催日 平成27年10月28日(水)～29日(木)
 開催場所 湯郷温泉
 参加人数 15名(内同伴者4名含む)
 実施事項 懇親・近況報告・観光
 幹事・報告者 内藤 照章

<幹事のコメント>

毎年恒例の「みそよ会」今年は岡山で開催、28日昼過ぎ岡山駅に15名集合。岡山特産のマスカットワイン工場で見学や試飲をした後、湯郷温泉で懇親、近況報告や「お馬の歌」を熱唱する等学生時代に帰った気分を満喫。

翌日は県南部の吉備路(足守武家屋敷=豊臣秀吉の正室(ねね)の生誕地、備中高松城址=黒田官兵衛の奇策による水攻め址)や後樂園等で観光、来年は茨城で開催することに決定し解散。30日は有志5名で早朝ゴルフコンペで汗を流す。

この会は最後の5人が集合出来るまで続けることで意見一致。

三々五々会(繊維学部学年同期会)打ち上げ会

織工S35卒



日 時 平成27年10月28日(水)～29日(木)
 開催場所 伊東園ホテル浅間の湯
 参加人数 18人
 実施事項 学年同期懇親会
 幹事・報告者 永島 武、和仁 尚三

<幹事のコメント>

昭和31年武蔵小金井の繊維学部に入學当時は桑畑もある専門学
 校臭の残る学部であった。入学生は4学科併せて120名くらい、その
 うち約50名が校内の男子西ヶ原寮に入った。

寮生は麦飯ながら3食付き24時間付き合いの青春謳歌の生活を
 スタートした忘れ難き思い出があり、卒業45周年を記念して
 2001年に先輩の中田茂雄氏経営の飯田市シルクホテルに集まった
 のが最初である。これが評判となり学年同期に横断的に呼び掛け発
 展し三々五々会として回を重ねてきた。

今年2015年は卒業して55年になり、メンバーの年齢は80歳前後
 である。そろそろ会も打ち上げ頃と去る10月28日～29日に信州松
 本市で開催した。振り返れば、別の大学へ移動した者、お先にの挨拶
 無しのままに死別した者、本人または家族が病身で参加を諦めた者、
 などで参加者は18人であったが実に楽しい同期会であった。

ピリオッドを打つのは早いとの声が多く出て幹事冥利であった。

S46林学科クラス会

林S46卒ほか



日 時 平成27年11月21日(土)
 開催場所 「魚串・然」(港区)
 参加人数 20名+先生(連絡できた級友の71%が出席)
 実施事項 14年ぶりに塚本良則先生をお迎えしたクラス会
 幹事・報告者 横堀 誠

<幹事のコメント>

塚本先生ご夫妻の著書「老夫婦だけで歩いたアルプスハイキング
 -氷河の地形と自然・人・村-(山と溪谷社・定価2,700円)の紹介が
 あり、80歳を過ぎてもお元気な先生と再会できた旧友から、もっぱ
 ら健康談議が飛び出す楽しいひとときでした。

参加者は前列左から、川口、渡部、大島、鈴木、川添、塚本先生、蓮尾、
 横堀、渡邊、後列左から、稗田、和田、福士、松本、宇佐見、高橋、湯本、佐
 野、三浦、岡田、半田、大野の21名です。

2016年4月頃、千葉県養老渓谷温泉にて宿泊クラス会が計画され
 ています。

硬式庭球部昭和55年卒業生同期会

S55卒



開催日 平成27年12月5日(土)
 開催場所 蕎麦 横川橋康次郎
 参加人数 5名
 実施事項 懇親会
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

同期の小林君、竹中君、内藤君、尾坂君が広島に来訪し、幹事と5人
 で盛り上がりました。

5日の昼食、懇親会、6日の昼食では、牡蠣や穴子など広島の味覚を
 賞味し、5日はめいぶるスカイ(二階建てオープンバス)で広島市内
 を、6日はひろしま世界遺産航路で宮島を巡りました。

幹事にとっては、35年ぶりの再会となりましたが、一緒にコート
 に立った4年間で、昨日のように思い出されました。

再会を約して別れましたが、他の同期の皆さん、当時一緒にコート
 に立った先輩や後輩の皆さんともぜひ再会したいと思います。
 集まるときは声をかけますので、連絡先を幹事までお知らせくださ
 い。幹事の連絡先は、同窓会事務局に問い合わせてください。

織工38会

織工S38卒



開催日 平成28年4月8日(金)
 開催場所 ナビオス横浜
 参加人数 12名
 実施事項 定例クラス会(親睦、近況報告など)
 幹事・報告者 中井 健一、深水 智明

<幹事のコメント>

さきに卒業後半世紀記念会を箱根で開催してから、早や3年も経ちました。今回は初めて横浜観光を兼ねて当地で開催しました。関西から5人の参加を得て、ランドマーク近辺の並木の桜が満開で桜と「みなとみらい」地区のビル群の景色と合わせて絶好の観光日和でした。しかし、開催計画時には15人の参加を見込んでいましたが、仲間には急な病等の発症もあり、残念なこともありました。齢には勝てないものです。話しぶりはお互いに変わる筈もなく、この年齢になっても、まだ学生時代の雰囲気です。今回は織工科の1年先輩も途中から加わっていただき、現役時代の仕事の関係もあり、織工科の仲間としての絆を覚えた会合になりました。これからもまだ、みんな元気であらいたいものです。

マツダ(株)新入社員歓迎会



日時 平成28年5月13日(金)
 開催場所 ホテルグランピア広島
 参加人数 24名
 実施事項 新入社員歓迎会・OB懇親会
 幹事・報告者 石田 一之(機械S59)

<幹事のコメント>

本年は、3名の農工大卒新入社員が入社しました。現在、社内に40名の農工大OB/OGが在籍しています。当日は、総勢24名が参加、3名の新入社員を手厚く大歓迎しました。広島に縁もゆかりもない、3名は身近に大学の先輩が居る事で心強くなった様でした。

相場名誉教授の叙勲を祝う会(林学科昭和34年卒クラス会)

林S34卒



日時 平成27年11月20日(金)
 開催場所 港区「富麗華」
 参加人数 6名
 実施事項 祝賀会
 幹事・報告者 磯貝 平八

<幹事のコメント>

今回のクラス会は平成27年秋の叙勲で同級生の相場芳憲君が瑞宝中綬章を受章したことを祝って開催しました。

今までに、原喜一郎君、小森幸造君(故人)、中野直枝君が受賞しているのでクラスで4名の受章者を輩出したこととなります。

相場君は造林学の分野で多くの功績をあげるとともに、学生の指導や大学の発展に尽力してきました。心からお祝い申し上げます。

急だったので在京のメンバーだけのクラス会でしたが、学生時代の思い出や卒業後の半世紀に及ぶ激動の時代を振り返り話は尽きませんでした。なお、写真に撮影されている女性は原君の奥さんです。

相場芳憲名誉教授「瑞宝中綬章」受章祝賀会

林学科造林学研究室S41学卒～H11院卒



日時 平成28年2月27日(土)
 開催場所 スクワール麹町
 参加人数 58名
 実施事項 祝賀会
 幹事・報告者 本山 芳裕(林S48)

<幹事のコメント>

昨年11月に瑞宝中綬章の榮譽に輝かれた相場芳憲東京農工大学名誉教授の受章祝賀会が、旧林学科造林学研究室出身者幹事会と同窓会林学部会の協力により、盛大に開催されました。

相場先生は、昭和34年林学科をご卒業、昭和39年東京大学林学専門博士課程を修

了、母校の助手にご就任されて以来、昭和55年6月農学部教授、平成3年大学院連合農学研究科教授、平成8年同研究科長の要職におかれて、本学の教育・研究に多大なご功績を達成されました。また、平成11年に定年退職、名誉教授になられてからは、多くのボランティア活動をご指導される等により、一貫して森林と樹木に関する啓蒙・普及に努めてこられました。

出席者は、発起人代表である昭和43年院卒の生原喜久雄東京農工大学名誉教授をはじめ、韓国、台湾からのかつての留学生も含め、平成11年院卒者まで35年間に亘る多数となり、祝賀の中で旧交を温めました。乾杯は太田芳文元秋田県角館町町長、万歳三唱は市川平治元群馬県倉渕村村長のご発声を頂き、会に一層の華やかさが感じられました。

和やかな雰囲気の中で改めて同窓・同学の国際的な繋がり、広がりをも深く感じつつ、先生の更なるご健勝・ご活躍とともに、参加者の弥栄を祈念して散会となりました。

硬式野球部後援会 2015年度OB戦

開催日 平成27年8月8日(土)
開催場所 東京農工大学工学部
グラウンド
参加人数 約30人
実施事項 毎年恒例。
昼に現役 vs OBの野球の試合。
夜に懇親会。
幹事・報告者 山口 陽三(電情H9)、
yozo@bbm-a.jp



<幹事のコメント>

近年の夏の猛暑にも負けず、最年長の70歳代・伊藤先輩(昭和36年繊維工学卒)を筆頭に硬式野球部のOBが今年も小金井グラウンドに集まりました。

現役との対戦では善戦むなしく3-6で敗れてしまいましたが、OBは随所に往年のプレーを見せ、最後まで食い下がりました。

夜は場所を移しての宴会。春は惜しくも3部リーグ優勝を逃した現役に対し、秋のリーグ戦に向けての激励がありました。

また現役からは練習環境改善のためにぜひともバッティングマシンを寄贈いただきたいとの切なる願いもありました。OBで持ち帰り、検討することといたしました。

現役の3部優勝、2部昇格を強く願い、散会いたしました。

http://www.yozonet.com/noko_baseball_ob/

昭和39年卒50周年記念 農学部同期会

農・農工・農化・林・林産・獣医S39卒

開催日 平成27年10月10日(土)
開催場所 同窓会50周年記念ホール
参加人数 40名
実施事項 近況交換、親睦
幹事・報告者 上田 淳治(農S39)



<幹事のコメント>

卒業後、50年を記念して6回目の同期会を開催しました。

卒業生131名中15名の物故者がありましたが、各地から40名が集まりました。

平成6年以来続けてきた本学唯一の同期会も、高齢を理由に一旦終了したが、会員からの強い要望で卒後50年をきっかけとして、再度開催した次第です。

次回は平成29年6月初旬を予定しています。

アメリカンフットボール部 創部40周年記念パーティ

日時 平成27年10月10日(土)
開催場所 RESTAURANT FOR ETERNITY
銀座店
参加人数 52名
実施事項 創部40周年記念パーティ
幹事・報告者 鶴巻 広一(農工S59)



<幹事のコメント>

アメリカンフットボール部BLASTERSは、2015年で創部40周年を迎えました。この記念パーティが52名の老若男女を集め、銀座で盛大に開かれました。ご来賓として、元部長で学長の松永是先生、現部長の岩見雅人先生にもご参加いただきました。

卒業後、初めて顔を出すOB・OGも少なくなく、和やかな雰囲気でお交を深めることができました。

なお、連絡が取れなくなっているOB・OGの方がいらっしゃいます。以下のアドレス(鶴巻宛)にぜひご一報をお願いします。

E-mail:koichi.tsurumaki@gmail.com

掲 示 板



BASE創立20周年記念シンポジウムを開催

2月6日(土)、小金井キャンパス新一号館グリーンホールにおいて、大学院生物システム応用科学府創立20周年記念シンポジウムが開催され、130名以上が参加しました。

大学院生物システム応用科学府(略称「BASE」)は、大学院での教育研究を重視した本学の基本方針に沿って、「生物に学び、新しいシステムを創る」を合言葉に新しい科学技術の創造を目的とし、理学・農学・工学にまたがる学際的新しい大学院として、平成7年度に研究科として設置され、この度、設置から20年の節目を迎えたことを記念して本シンポジウムが開催されました。

当日は、松永是学長による挨拶の後、初代BASE研究科長の宮田清蔵元学長および第二代BASE研究科長の小畑秀文前学長から来賓挨拶がありました。

続いて本学卒業・修了生で企業の役員として活躍されている和田義明キューピー(株)常務取締役、角井寿

雄ライオン(株)取締役、村上秀人カルソニックカンセイ(株)副社長執行役員の3名による招待者講演が行われ、企業側から本学およびBASEに対する期待や、現役の学生に向けた意見を頂きました。



最後に神谷秀博生物システム応用科学府長から、現在の学府の体制紹介や活動報告が行われました。

在学生や修了生、現日の教職員が一堂に会し、他機関や企業等との交流が深まる機会として、大変有意義なシンポジウムとなりました。

大学院連合農学研究科設立30周年記念式典を挙

3月10日(木)、府中キャンパス連合農学研究科管理棟において、東京農工大学大学院連合農学研究科設立30周年記念式典が挙行されました。

式典には、約120名が出席し、松永是学長の挨拶の後、土生木茂雄文部科学省高等教育局視学官が常盤豊文部科学省高等教育局長の祝辞を代読し、船田良大学院連合農学研究科長から経過報告がありました。

続いて、多地点制御遠隔講義システムを利用して、全国連合農学研究科の比屋根哲岩手大学大学院連合農学研究科長、千家正照岐阜大学大学院連合農学研究科長、前川二太郎鳥取大学大学院連合農学研究科長、伊藤和貴愛媛大学大学院連合農学研究科副研究科長並びに杉元康志鹿児島大学大学院連合農学研究科長から祝辞を賜りました。

式典に続いて行われた記念講演では、本研究科修了生の陳鉉五韓国慶熙大学生命科学部教授、Oti Rostiana インドネシア共和国農業研究開発庁研究

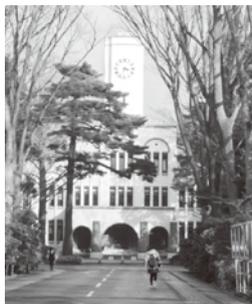
員、宗村広昭鳥取大学生物資源科学部准教授、岡田洋平東京農工大学大学院工学研究院助教に学生時代の思い出や現在の研究活動を講演いただき、式典参加者は、和やかな雰囲気の中、連合農学研究科の30年を振り返っていました。

その後、50周年記念ホールにおいて、三村信男茨城大学長および石田朋靖宇都宮大学長の挨拶により研究交流会が開宴され、歴代の研究科長、専任教官、同窓会長、名誉教授、本研究科修了生をはじめとして役員、教職員等多くの関係者が出席し、盛大に祝われました。



農学部本館・講堂改修竣工記念御披露目会開催

5月11日(水)に昨年8月から改修を行っていた農学部本館・講堂の改修工事が完了したことに伴い、御披露目会が実施されました。



安全安心かつ歴史を語る建物へと生まれ変わった農学部本館の施設見学後、高野府中市長・松永学長・梶井元学長・荻原農学部長により、農学部本館脇に「染井吉野(桜)」の記念植樹式が行われました。その後、講堂において、府中市長、本学名誉教授、OB教員、本学

教員及び事務職員等が出席して、記念講演会が、松永学長の挨拶に始まり、荻原農学部長から改修に関するコンセプトの説明、梶井元学長による記念講演が行われました。講演会の締めくくりには、本学グリークラブ雄志と出席者一同で校歌を斉唱しました。

なお、講演会終了後、農学部生協食堂で100名ほどの関係者が出席し、草野同窓会長による乾杯の発声後、松永学長、國見理事、笹尾元農学部長、有馬元農学部長、大野工学部長などの挨拶があり、改修となった農学部本館の改修後の感想やかつてのエピソードなどが披露され、和やかなもと懇談が行われました。

慶 弔

(敬称略)

慶 事 お祝い申し上げます

平成28年春の叙勲

藤本 大三郎(名誉教授) 瑞宝中綬章

平成27年秋の叙勲・褒章

相場 芳憲(名誉教授・林 S34) 瑞宝中綬章
 中山 昌治(林 S32) 藍綬褒章

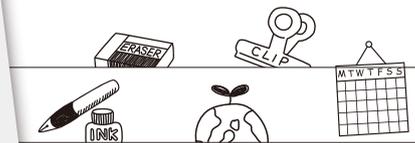
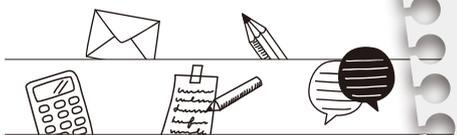
弔 事 ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

名誉教授	阿部 重雄		三橋 重之	(S32)		長谷部 秀也	(S24)	
	村山 登		五十嵐 富士雄	(S35)		瀬木 秀保	(S31)	
名誉顧問	阪上 信次		中井田 靖	(S37)		(元事務局長)		
農	瀬口 信夫	(S18)	澤田 務	(S38)		萩原 應至	(S33)	
	小林 保治	(S20)	林産	佐渡 篤	(S38)	遠藤 暁	(S34)	
	佐藤 文夫	(S20)		(名誉教授、元副会長、 林産・生物資源工学会元会長)		平井 吉光	(S46)	
	濱口 秀夫	(S24)	林	岡 康夫	(S16)	教婦	松元(東郷) 房	(S8)
	伊藤 嘉昭	(S25)		宮岡 文雄	(S17)		長田(奥山) ふじゑ	(S12)
	佐久間(大久保) 信夫	(S26)		服部 清兵衛	(S18)		野村(今井) 眞佐子	(S13)
	雨宮 毅	(S28)		鈴木 清	(S19)	繊維	小野(山根) 照子	(S14)
	杉之尾 隆夫	(S32)		山崎(吾妻) 康雄	(S21)		一瀬 亮次	(S19)
	田中 敏夫	(S34)		大窪 栄正	(S22)		志田 雄造	(S20)
	松丸 勝二	(S37)		西村 隆清	(S22)		(元副会長、繊維・有機材料部元会長)	
	(茨城県前支部長)			高松 英男	(S23)	紡織	池田 文夫	(S25)
	屋敷 隆士	(S37)		牛山 元雄	(S24)		谷井 英博	(S32)
	小崎 宏	(S45)		中村 藤彌	(S31)	織工	長島 一畝	(S32)
	(宮崎県現支部長)			荒井 宏	(S35)		東 功	(S38)
	佐藤 岩夫	(S54)		(元副会長、林学会元会長)			豊倉 善夫	(S41)
拓殖	滝川 幸男	(S16)		杉山 芳久	(S35)	織高	望月 文男	(S46)
	松島 勝之助	(S16)		野口 晴彦	(S36)	化工	神藤 郁夫	(S44)
	伊奈 一郎	(S18)		辻 文博	(S37)	織化	萩原 良三	(S22)
生物	奥富 清	(S23)		山本 耕司	(S46)		大井 淳三	(S23)
	(名誉教授)			浜端 悦治	(S49)		秋澤 秀高	(S25)
	関塚 昭明	(S23)	農工	秋山 秀次	(S24)		佐藤 幸男	(S26)
農甲	青井 厚二	(S23)		萩原 泰朗	(S31)		中島 三郎	(S30)
農乙	京坂 恒馬	(S22)		中尾 清治	(S34)		河向 司郎	(S31)
				(鳥根県現支部長)				
養蚕	山崎 重信	(S16)		照屋 至	(S41)	工化	後藤 豊	(S49)
	佐野 光徳	(S17)		清水 貴	(S44)	機械	曾我部 徹	(S44)
	岩井 昭作	(S24)	獣実	甕 宏	(S62)		水野 孝	(S49)
	都築 誠	(S24)		春日井 達造	(S16)	応物	根本 峰弘	(S63)
	金田 倫光	(S29)		(愛知県元支部長)				
	西條 仁矢	(S31)	獣医	市川 隆夫	(S16)			
養実	岡安(武井) 勇	(S13)		前田 精一	(S16)			
	久保田 耕司	(S23)		久野 幸三	(S17)			
蚕専	遠藤 富夫	(S22)		高橋 良男	(S17)			
	山本 幸男	(S23)	獣畜	及川 洋司	(S35)			
蚕別	岩井 吉伸	(S58)		高田 保之	(S22)			
農化	木村 学而	(S24)		土屋 忠雄	(S24)			
	山本(大西) 孝	(S28)	製糸	高倉 剛二	(S25)			
				細野 志郎	(S25)			
				上田 哲示	(S16)			
				後藤 強	(S18)			



※訃報の掲載は、平成27年4月以降ご家族から掲載の許可をいただいた方および、新聞等で公表された方のみ掲載

事務局だより



1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

終身会費30,000円または年会費1,500円

- ◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です
- ◇過去に遡って納入の必要はありません

2. メールアドレスの新規登録、住所・勤務先等の変更届けのお願い

事務局では同窓生への各種連絡にスムーズに対応するため、メールアドレスの新規登録をお願いしています。

同窓会ホームページ [会員情報](#)（住所変更など）から、24時間いつでも登録、その他の変更届けができますので是非ご利用ください。従来通り、変更連絡票はがきやメール・電話など、いずれの方法でも受け付けますので住所、勤務先等の変更があった場合は、すみやかに同窓会事務局までご連絡願います。

なお、同窓会が所有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

3. 同窓会ホームページ「ギャラリー」の作品募集

写真や絵（日本画、水彩画、油絵）、版画など内容は自由です。200字程度の紹介文を添付して同窓会までお送りください。

送っていただいた作品の中からホームページのトップ画面や農工通信の表紙も飾らせていただきます。

みなさまの力作を奮ってご送付ください。お待ちしております。



4. Facebook活用をお願い

同窓会ホームページ [会員交流広場](#) では、Facebookを利用した会員のコミュニケーションの場を提供しています。

Facebookの利用には簡単な登録が必要となりますので、詳しくは同窓会ホームページ [会員交流広場](#) をご覧ください。

また、部会・支部でFacebookページを開設された場合は、リンクを貼らせていただきますので、同窓会事務局までご連絡ください。

5. 同好部会の設置申請受付中

同窓会では、活動内容の類似した会員集団、又は同好の会員集団となる部会・同好部会の設置ができます。設置を希望する会員は規程・細則等を参照のうえ、申請方お願いいたします。

申請に関する規程・細則等の詳細は、同窓会ホームページ [同好部会の設置・申請について](#) をご覧ください。



編集後記

Editor's note

広報・情報部長 亀山 秀雄(化工S48)

まずは、平成28年4月14日から続く「平成28年熊本地震」により犠牲になられた方には心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様方にお見舞い申し上げます。

さて、同窓会は、設立から今年で54年になります。その長い歴史の中で、支部活動や部会活動を支援し、農工通信の発行を通じて会員の相互情報通信を行うとともに、農工大学の支援を行ってまいりました。その中で事務局は皆様との情報交換の上で欠かせない役割を担っております。同窓会に平成12年から16年間の長きにわたり勤務され、皆様も同窓会との連絡でよくご承知の米山美佐子総括主任が、この6月で退職されたことをご報告いたします。米山さんは、4人の事務局長（瀬木、岡本、山田、池谷）、4名の同窓会長（西尾、畑中、藤森、草野）、8名の理事長に任せ、この同窓会の発展に貢献さ

れてきました。この場を借りて、これから新たな場所で元気に活躍されることを祈念し、感謝の意を表したいと思います。

さて、母校農工大学は、今年から5年間、第3期中期目標ビジョン「世界が認知する研究大学へ」を掲げて、更なる飛躍を目指しています。同窓会として、国際共同研究や産学連携の大型公的資金の獲得の実績が求められています。海外の大学で教鞭を取られている本学の留学生の方とのネットワークや同窓生で会社や公的組織の役職についておられる方のネットワークを活用して、農工大学の研究の新規性、独自性、社会的価値などを同窓生に伝え、母校の発展のためにプロジェクトの支援に繋がるような活動も同窓会のミッションの一つであると思います。また、壮大なビジョンの下で教育を受けた学生に活躍の場を提供するための支援も同窓会のミッションであると思います。この農工通信が大学研究や教育情報の発信の場としても活用されたいと思います。



在学生の就職支援のための会員情報提供についてお願い

皆様の氏名と就職先情報を在学生の就職支援のために情報提供して宜しいかお知らせください。就職支援のための情報提供が不可の方は、平成28年10月末日までに同封の「住所・勤務先変更連絡票」または同窓会ホームページ 会員情報(住所変更など)、メール等で同窓会事務局までお知らせください。

連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。

※「住所・勤務先変更連絡票」記載例
就職支援だけ不可の場合

【問い合わせ先】

東京農工大学同窓会事務局

地	地	(電話)	-	-
情報公開の可否*	部会・支部名簿の掲載		可	否
	部会・支部集会の案内		可	否
	本学学生への就職支援		可	否
<input type="checkbox"/> ご本人逝去 ご逝去日 平成 年 月 日		※同窓会誌・ホームページの掲載	可	否

★上記以外の目的について情報公開の依頼がある場合は、ご本人の同意を得ます。

「情報提供マニュアル」のご紹介

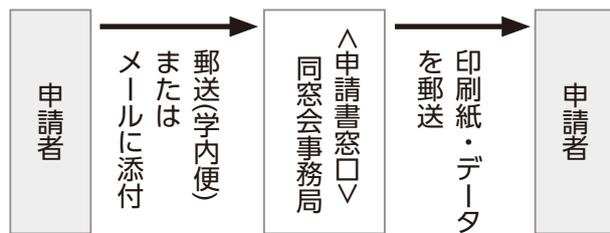
本会が保有する会員の個人情報は名簿提供依頼書等により本会の会員に提供しております。なお提供された名簿は、利用目的以外に使用せず同窓会個人情報の保護に関する規則の趣旨に基づき個人情報の保護に努めていただくようお願いいたします。

【申請手続き】

利用目的	申請者	申請書	備考
部会・支部活動	部会・支部の連絡員	(様式1) 部会・支部・クラス会等名簿提供依頼	-
クラス会・OB会等の開催	同窓会員		身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピー
大学内の使用	本学および本学教職員	(様式2) 卒業生・修了生名簿提供のお願い	-
個人的な使用	同窓会員	電話依頼	-

※個人的な情報提供依頼は、ご本人の承諾を得て情報を提供します。

【申請の流れ】



受付から1週間程度

【申請書の入手方法】

- (1) 同窓会事務局へ電話・FAX・はがき・メール等で、送付依頼
東京農工大学同窓会事務局
〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1
TEL 042-364-3328
FAX 042-335-3500
Email info@tuat-dousokai.jp.org
- (2) 同窓会ホームページからダウンロード
同窓会ホームページの「事務局便り・お知らせ」をクリックしていただくと、ダウンロードの方法が確認できるようになっています。

お知らせ

同窓会会則改正により、平成25年度の総会から正副会長・支部長を始め、部会・支部から推薦のあった理事や代議員のほかに、60人以内の一般の会員も構成員に加えました。毎年1月の同窓会ホームページにて募集しますので、奮ってご応募ください。

農工通信 第91号

発行日 平成28年(2016年)8月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局

TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail info@tuat-dousokai.jp.org

URL http://www.tuat-dousokai.org/

振替口座 00120-9-93147番(加入者負担)

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 株式会社マイナビサポート

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23-1

お中元、お歳暮、贈り物に最適

部会、支部会、同窓会でも

ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]

賞典禄

農工大ブランド本格焼酎



原酒 (麦)

米焼酎

芋焼酎

麦焼酎

長期貯蔵酒 (米)

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター (FSセンター) で栽培した原料(米・芋・麦)をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄(しょうてんろく)」を販売しています。

「賞典禄(しょうてんろく)」を販売しています。

「好評いただいております」賞典禄(しょうてんろく)「米・芋・麦の本格焼酎に加えて、麦の熟成した原酒もそろい踏みとなります。ますます品ぞろえが豊富になりました。」

この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味下さい。

賞典禄 FAX 注文票

以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】

		平成	年	月	日
原酒 麦焼酎 (2,500 円) 43度 720ml	本	米焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本		
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 41度 720ml	本	芋焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本		
焼酎 米・芋・麦 3種セット (4,200 円) 25度 720ml×3	セット	麦焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本		
合計注文金額			円		

【ご注文者様情報】

お名前	フリガナ	
住所	〒	
電話番号	FAX番号	
生年月日	T. S. H 年 月 日	※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】
- ※1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
 - ※2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
 - ※3 本注文票により収集された個人情報は、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ : FS センター農工大市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室

TEL 042-367-5811